



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和8年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
筑後川下流地区徳永2号線他機能保全検討業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永2号線他機能保全検討業務

業務別業務名:調査業務

名 称 (規 格)		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接人件費～機械経費					4,593,000	
・直接人件費～機械経費		1.000	式		4,593,000	
・ ・ 直接人件費～機械経費 調査業務		1.000	式		3,680,000	
・ ・ ・ 直接人件費～機械経費 調査業務		1.000	式	1,900,000	1,900,000	1 式当たり
T00001	サイフォン (管内) 内面目視・たわみ状況	1.000	施設	1,900,339	1,900,339	歩A・単A T単 1号
合 計					1,900,339	
・ ・ ・ 直接人件費 調査業務		1.000	式	158,000	158,000	1 式当たり
T00002	サイフォン (呑口部) 現地踏査	1.000	施設	34,009	34,009	歩A・単A T単 2号
T00003	サイフォン (呑口部) 現地調査 (近接目視)	1.000	施設	106,591	106,591	歩A・単A T単 3号
S65003	サイフォン (呑口部) コンクリート強度推定調査	1.000	測点	4,356	4,356	歩A・単A S単 7号
S65004	サイフォン (呑口部) 鉄筋探査	1.000	箇所	4,118	4,118	歩A・単A S単 11号
S65009	サイフォン (呑口部) 中性化深さ調査 (ドリル法)	1.000	箇所	8,798	8,798	歩A・単A S単 15号
合 計					157,872	
・ ・ ・ 直接人件費 調査業務		1.000	式	159,000	159,000	1 式当たり
T00004	サイフォン (吐口部) 現地踏査	1.000	施設	34,009	34,009	歩A・単A T単 4号
T00005	サイフォン (吐口部) 現地調査 (近接目視)	1.000	施設	107,940	107,940	歩A・単A T単 5号
S65003	サイフォン (吐口部) コンクリート強度推定調査	1.000	測点	4,356	4,356	歩A・単A S単 8号
S65004	サイフォン (吐口部) 鉄筋探査	1.000	箇所	4,118	4,118	歩A・単A S単 12号
S65009	サイフォン (吐口部) 中性化深さ (ドリル法)	1.000	箇所	8,798	8,798	歩A・単A S単 16号
合 計					159,221	
・ ・ ・ 直接人件費 調査業務		1.000	式	837,000	837,000	1 式当たり
T00006	制水門 現地踏査	6.000	施設	27,207	163,242	歩A・単A T単 6号
T00007	制水門 現地調査	349.000	m ²	1,633	569,917	歩A・単A T単 7号
S65003	制水門 コンクリート強度推定調査	6.000	測点	4,356	26,136	歩A・単A S単 9号
S65004	制水門 鉄筋探査	6.000	箇所	4,118	24,708	歩A・単A S単 13号
S65009	制水門 中性化深さ試験 (ドリル法)	6.000	箇所	8,798	52,788	歩A・単A S単 17号
合 計					836,791	
・ ・ ・ 直接人件費 調査業務		1.000	式	626,000	626,000	1 式当たり
T00008	橋梁 現地踏査	4.000	施設	21,766	87,064	歩A・単A T単 8号
T00009	橋梁 現地調査	536.000	m ²	877	470,072	歩A・単A T単 9号
S65003	橋梁 コンクリート強度推定調査	4.000	測点	4,356	17,424	歩A・単A S単 10号
S65004	橋梁 鉄筋探査	4.000	箇所	4,118	16,472	歩A・単A S単 14号
S65009	橋梁 中性化深さ試験 (ドリル法)	4.000	箇所	8,798	35,192	歩A・単A S単 18号
合 計					626,224	
・ ・ 直接人件費 移動分		1.000	式		913,000	
・ ・ ・ 調査業務 (移動分)		1.000	式	913,000	913,000	1 式当たり
T00010	移動に係る基準日額 (現地踏査) 現地踏査に係る移動人件費	1.000	式	93,450	93,450	歩A・単A T単 10号
T00011	移動に係る基準日額 (現地調査) 現地調査に係る移動人件費	1.000	式	767,190	767,190	歩A・単A T単 11号

[illegible]

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永2号線他機能保全検討業務

業務別業務名:調査業務

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 1号 ***					
S02115	主任技師					
	主任技師		人	70,900		歩A・単A
	*** S単ー 2号 ***					
S02115	技師 (A)					
	技師 (A)		人	62,600		歩A・単A
	*** S単ー 3号 ***					
S02115	技師 (B)					
	技師 (B)		人	49,300		歩A・単A
	*** S単ー 4号 ***					
S02115	技師 (C)					
	技師 (C)		人	42,500		歩A・単A
	*** S単ー 5号 ***					
S02115	技術員					
	技術員		人	36,700		歩A・単A
	*** S単ー 6号 ***					
S02116	高速道路等料金					
	高速道路等料金		往復	2,962		歩A・単A
	*** S単ー 7号 ***					
S65003	サイフォン (呑口部) コンクリート強度推定調査					
	コンクリート強度推定調査		測点	4,356		歩A・単A
	*** S単ー 8号 ***					
S65003	サイフォン (吐口部) コンクリート強度推定調査					
	コンクリート強度推定調査		測点	4,356		歩A・単A
	*** S単ー 9号 ***					
S65003	制水門 コンクリート強度推定調査					
	コンクリート強度推定調査		測点	4,356		歩A・単A
	*** S単ー 10号 ***					
S65003	橋梁 コンクリート強度推定調査					
	コンクリート強度推定調査		測点	4,356		歩A・単A
	*** S単ー 11号 ***					
S65004	サイフォン (呑口部) 鉄筋探査					
	鉄筋調査		箇所	4,118		歩A・単A
	*** S単ー 12号 ***					
S65004	サイフォン (吐口部) 鉄筋探査					
	鉄筋調査		箇所	4,118		歩A・単A
	*** S単ー 13号 ***					
S65004	制水門 鉄筋探査					
	鉄筋調査		箇所	4,118		歩A・単A
	*** S単ー 14号 ***					
S65004	橋梁 鉄筋探査					
	鉄筋調査		箇所	4,118		歩A・単A
	*** S単ー 15号 ***					
S65009	サイフォン (呑口部) 中性化深さ調査 (ドリル法)					
	中性化深さ試験 (ドリル法)		箇所	8,798		歩A・単A
	*** S単ー 16号 ***					
S65009	サイフォン (吐口部) 中性化深さ (ドリル法)					
	中性化深さ試験 (ドリル法)		箇所	8,798		歩A・単A
	*** S単ー 17号 ***					
S65009	制水門 中性化深さ試験 (ドリル法)					
	中性化深さ試験 (ドリル法)		箇所	8,798		歩A・単A
	*** S単ー 18号 ***					
S65009	橋梁 中性化深さ試験 (ドリル法)					
	中性化深さ試験 (ドリル法)		箇所	8,798		歩A・単A
	*** T単ー 1号 ***					
T00001	サイフォン (管内)					
	内面目視・たわみ状況		施設	1,900,339		歩A・単A
	*** T単ー 2号 ***					
T00002	サイフォン (呑口部)					
	現地踏査		施設	34,009		歩A・単A
	*** T単ー 3号 ***					
T00003	サイフォン (呑口部)					
	現地調査 (近接目視)		施設	106,591		歩A・単A

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永2号線他機能保全検討業務

業務別業務名:調査業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
S02115	主任技師		人		1,000	歩A 当たり算出
	主任技師			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04003 基(D3)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04003	主任技師	1,000	人	70,900	70,900	
	合 計				70,900	算出数量 1,000 人
	単 価				70,900	
	*** S単一 2号 ***					
S02115	技師 (A)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (A)			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04004 基(D3)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04004	技師 (A)	1,000	人	62,600	62,600	
	合 計				62,600	算出数量 1,000 人
	単 価				62,600	
	*** S単一 3号 ***					
S02115	技師 (B)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (B)			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04005 基(D3)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B)	1,000	人	49,300	49,300	
	合 計				49,300	算出数量 1,000 人
	単 価				49,300	
	*** S単一 4号 ***					
S02115	技師 (C)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (C)			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04006 基(D3)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C)	1,000	人	42,500	42,500	
	合 計				42,500	算出数量 1,000 人
	単 価				42,500	
	*** S単一 5号 ***					
S02115	技術員		人		1,000	歩A 当たり算出
	技術員			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04007 基(D3)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04007	技術員	1,000	人	36,700	36,700	
	合 計				36,700	算出数量 1,000 人

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名	筑後川下流地区徳永 2 号線他機能保全検討業務				

業務別業務名:調査業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価				36,700	
	*** S 単 - 6 号 ***					
S02116	高速道路等料金		往復		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	高速道路等料金			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地域資材 (Pコード)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)地域資材単価コード (P)	P96001		深夜時間:0.0		
	3)地区資材単価コード (J)					
	4)施設機械資材単価コード (K)					
P96001	高速道路等料金	1.000	往復	2,962	2,962	
	合 計				2,962	算出数量 1.000 各単位
	単 価				2,962	
	*** S 単 - 7 号 ***					
S65003	サイフォン (呑口部) コンクリート強度推定調査		測点		1.000 日	歩A 当たり算出
	コンクリート強度推定調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)強度推定調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	42,500	42,500	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,700	36,700	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		79,200	7,920	
	合 計				87,120	算出数量 20.000 測点
	単 価		測点		4,356	
	*** S 単 - 8 号 ***					
S65003	サイフォン (吐口部) コンクリート強度推定調査		測点		1.000 日	歩A 当たり算出
	コンクリート強度推定調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)強度推定調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	42,500	42,500	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,700	36,700	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		79,200	7,920	
	合 計				87,120	算出数量 20.000 測点
	単 価		測点		4,356	
	*** S 単 - 9 号 ***					
S65003	制水門 コンクリート強度推定調査		測点		1.000 日	歩A 当たり算出
	コンクリート強度推定調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)強度推定調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	42,500	42,500	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,700	36,700	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		79,200	7,920	
	合 計				87,120	算出数量 20.000 測点
	単 価		測点		4,356	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名	筑後川下流地区徳永2号線他機能保全検討業務				

業務別業務名:調査業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 10号 ***					
S65003	橋梁 コンクリート強度推定調査		測点		1,000 日	歩A 当たり算出
	コンクリート強度推定調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)強度推定調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C) 外業	1,000	人	42,500	42,500	
R04007	技術員 外業	1,000	人	36,700	36,700	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		79,200	7,920	
	合 計				87,120	算出数量 20,000 測点
	単 価		測点		4,356	
	*** S単ー 11号 ***					
S65004	サイフォン (呑口部) 鉄筋探査		箇所		1,000 日	歩A 当たり算出
	鉄筋調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)鉄筋調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C) 外業	1,000	人	42,500	42,500	
R04007	技術員 外業	1,000	人	36,700	36,700	
Y00004	機械経費 30.0%	0.300		79,200	23,760	
	合 計				102,960	算出数量 25,000 箇所
	単 価		箇所		4,118	
	*** S単ー 12号 ***					
S65004	サイフォン (吐口部) 鉄筋探査		箇所		1,000 日	歩A 当たり算出
	鉄筋調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)鉄筋調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C) 外業	1,000	人	42,500	42,500	
R04007	技術員 外業	1,000	人	36,700	36,700	
Y00004	機械経費 30.0%	0.300		79,200	23,760	
	合 計				102,960	算出数量 25,000 箇所
	単 価		箇所		4,118	
	*** S単ー 13号 ***					
S65004	制水門 鉄筋探査		箇所		1,000 日	歩A 当たり算出
	鉄筋調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)鉄筋調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C) 外業	1,000	人	42,500	42,500	
R04007	技術員 外業	1,000	人	36,700	36,700	
Y00004	機械経費 30.0%	0.300		79,200	23,760	
	合 計				102,960	算出数量 25,000 箇所

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名	筑後川下流地区徳永 2 号線他機能保全検討業務				

業務別業務名:調査業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		箇所		4,118	
	*** S 単ー 14号 ***					
S65004	橋梁 鉄筋探査		箇所		1,000 日	歩A 当たり算出
	鉄筋調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)鉄筋調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	42,500	42,500	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,700	36,700	
Y00004	機械経費 30.0%	0.300		79,200	23,760	
	合 計				102,960	算出数量 25.000 箇所
	単 価		箇所		4,118	
	*** S 単ー 15号 ***					
S65009	サイフォン (呑口部) 中性化深さ調査 (ドリル法)		箇所		1,000 日	歩A 当たり算出
	中性化深さ試験 (ドリル法)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)中性化深さ試験 (ドリル法)	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	49,300	49,300	
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	42,500	42,500	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		91,800	9,180	
Y00004	材料費 5.0%	0.050		91,800	4,590	
	合 計				105,570	算出数量 12.000 断面
	単 価		断面		8,798	
	*** S 単ー 16号 ***					
S65009	サイフォン (吐口部) 中性化深さ (ドリル法)		箇所		1,000 日	歩A 当たり算出
	中性化深さ試験 (ドリル法)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)中性化深さ試験 (ドリル法)	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	49,300	49,300	
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	42,500	42,500	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		91,800	9,180	
Y00004	材料費 5.0%	0.050		91,800	4,590	
	合 計				105,570	算出数量 12.000 断面
	単 価		断面		8,798	
	*** S 単ー 17号 ***					
S65009	制水門 中性化深さ試験 (ドリル法)		箇所		1,000 日	歩A 当たり算出
	中性化深さ試験 (ドリル法)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)中性化深さ試験 (ドリル法)	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	49,300	49,300	

[illegible]

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永 2 号線他機能保全検討業務

業務別業務名:調査業務

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** T単- 1号 ***					
T00001	サイフォン (管内)		施設		1.000 施設	歩A 当たり算出
	内面目視・たわみ状況					
S02115	主任技師	2.500	人	70,900	177,250	S単 1号
S02115	技師 (A)	5.000	人	62,600	313,000	S単 2号
S02115	技師 (B)	7.500	人	49,300	369,750	S単 3号
S02115	技師 (C)	7.500	人	42,500	318,750	S単 4号
S02115	技術員	5.000	人	36,700	183,500	S単 5号
Y00004	雑品	0.395		1,362,250	538,089	
	合 計				1,900,339	算出数量 1.000 施設
	単 価		施設		1,900,339	
	*** T単- 2号 ***					
T00002	サイフォン (呑口部)		施設		1.000 施設	歩A 当たり算出
	現地踏査					
S02115	主任技師	0.250	人	70,900	17,725	S単 1号
S02115	技師 (A)	0.250	人	62,600	15,650	S単 2号
Y00004	雑品	0.019		33,375	634	
	合 計				34,009	算出数量 1.000 施設
	単 価		施設		34,009	
	*** T単- 3号 ***					
T00003	サイフォン (呑口部)		施設		1.000 施設	歩A 当たり算出
	現地調査 (近接目視)					
S02115	技師 (B)	0.790	人	49,300	38,947	S単 3号
S02115	技師 (C)	0.790	人	42,500	33,575	S単 4号
S02115	技術員	0.790	人	36,700	28,993	S単 5号
Y00004	雑品	0.050		101,515	5,076	
	合 計				106,591	算出数量 1.000 施設
	単 価		施設		106,591	
	*** T単- 4号 ***					
T00004	サイフォン (吐口部)		施設		1.000 施設	歩A 当たり算出
	現地踏査					
S02115	主任技師	0.250	人	70,900	17,725	S単 1号
S02115	技師 (A)	0.250	人	62,600	15,650	S単 2号
Y00004	雑品	0.019		33,375	634	
	合 計				34,009	算出数量 1.000 施設
	単 価		施設		34,009	
	*** T単- 5号 ***					
T00005	サイフォン (吐口部)		施設		1.000 施設	歩A 当たり算出
	現地調査 (近接目視)					

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永2号線他機能保全検討業務

業務別業務名:調査業務

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S02115	技師 (B)	0.800	人	49,300	39,440	S単 3号
S02115	技師 (C)	0.800	人	42,500	34,000	S単 4号
S02115	技術員	0.800	人	36,700	29,360	S単 5号
Y00004	雑品	0.050		102,800	5,140	
	合 計				107,940	算出数量 1.000 施設
	単 価		施設		107,940	
	*** T単- 6号 ***					
T00006	制水門		施設		1.000 施設	歩A 当たり算出
	現地踏査					
S02115	主任技師	0.200	人	70,900	14,180	S単 1号
S02115	技師 (A)	0.200	人	62,600	12,520	S単 2号
Y00004	雑品	0.019		26,700	507	
	合 計				27,207	算出数量 1.000 施設
	単 価		施設		27,207	
	*** T単- 7号 ***					
T00007	制水門		m ²		100.000 m ²	歩A 当たり算出
	現地調査					
S02115	技師 (B)	1.210	人	49,300	59,653	S単 3号
S02115	技師 (C)	1.210	人	42,500	51,425	S単 4号
S02115	技術員	1.210	人	36,700	44,407	S単 5号
Y00004	雑品	0.050		155,485	7,774	
	合 計				163,259	算出数量 100.000 m ²
	単 価		m ²		1,633	
	*** T単- 8号 ***					
T00008	橋梁		施設		1.000 施設	歩A 当たり算出
	現地踏査					
S02115	主任技師	0.160	人	70,900	11,344	S単 1号
S02115	技師 (A)	0.160	人	62,600	10,016	S単 2号
Y00004	雑品	0.019		21,360	406	
	合 計				21,766	算出数量 1.000 施設
	単 価		施設		21,766	
	*** T単- 9号 ***					
T00009	橋梁		m ²		100.000 m ²	歩A 当たり算出
	現地調査					
S02115	技師 (B)	0.650	人	49,300	32,045	S単 3号
S02115	技師 (C)	0.650	人	42,500	27,625	S単 4号
S02115	技術員	0.650	人	36,700	23,855	S単 5号
Y00004	雑品	0.050		83,525	4,176	
	合 計				87,701	算出数量 100.000 m ²

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永 2 号線他機能保全検討業務

業務別業務名:設計業務

名 称 (規 格)		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接人件費					5,760,000	
・直接人件費 直接人件費		1.000	式		5,760,000	
・ ・ 直接人件費 設計業務		1.000	式		5,684,000	
・ ・ ・ 設計作業費 設計業務 1-1 サイフォン(管路)		1.000	式	2,232,000	2,232,000	1 式当たり
S63003	1. 業務準備 0.00人, 0.00人, 0.84人, 1.09人, 0.98人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	176,104	176,104	歩A・単A S単 5号
S63003	2. 事前調査 (2-1 資料調査) 内業 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.72人, 1.44人, 1.44人, 0.00人	1.000	式	177,264	177,264	歩A・単A S単 6号
S63007	2. 事前調査 (2-2 問診調査) 外業 0.00人, 0.00人, 0.00人, 1.11人, 1.11人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	124,209	124,209	歩A・単A S単 31号
S63003	3. 施設機能の検討 0.00人, 0.00人, 0.37人, 0.90人, 0.85人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	124,478	124,478	歩A・単A S単 7号
S63003	4. 施設の影響度評価 0.00人, 0.00人, 0.60人, 1.14人, 1.07人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	166,655	166,655	歩A・単A S単 8号
S63003	5. 性能低下要因の推定 0.00人, 0.00人, 0.65人, 1.36人, 1.18人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	189,395	189,395	歩A・単A S単 9号
S63003	6. 健全度評価 0.00人, 0.00人, 0.40人, 1.12人, 1.04人, 1.20人, 0.00人	1.000	式	200,744	200,744	歩A・単A S単 10号
S63003	7. 性能低下予測 0.00人, 0.00人, 0.31人, 0.79人, 0.92人, 0.55人, 0.00人	1.000	式	140,164	140,164	歩A・単A S単 11号
S63003	8. 管理水準の設定 0.00人, 0.00人, 0.48人, 1.16人, 0.00人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	106,648	106,648	歩A・単A S単 12号
S63003	9. 機能保全対策の検討 0.00人, 0.00人, 1.08人, 2.17人, 1.48人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	285,378	285,378	歩A・単A S単 13号
S63003	1 0. 機能保全コストの算定 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.42人, 0.67人, 1.19人, 0.00人	1.000	式	109,898	109,898	歩A・単A S単 14号
S63003	1 1. 機能保全計画の策定 0.00人, 0.00人, 0.74人, 1.33人, 1.29人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	199,321	199,321	歩A・単A S単 15号
S63003	1 2. 農業水利ストック情報データの入力及び登録 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.94人, 0.94人, 0.00人	1.000	式	86,292	86,292	歩A・単A S単 16号
S63003	1 3. 点検とりまとめ 0.00人, 0.00人, 0.90人, 0.70人, 0.00人, 0.90人, 0.00人	1.000	式	145,880	145,880	歩A・単A S単 17号
合 計					2,232,430	
・ ・ ・ 設計作業費 設計業務 1-2 サイフォン(呑口部)		1.000	式	1,515,000	1,515,000	1 式当たり
S63003	1. 業務準備 0.00人, 0.00人, 0.36人, 0.60人, 0.55人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	90,199	90,199	歩A・単A S単 18号
S63003	2. 事前調査 (2-1 資料調査) 内業 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.55人, 1.11人, 1.11人, 0.00人	1.000	式	136,328	136,328	歩A・単A S単 19号
S63007	2. 事前調査 (2-2 問診調査) 外業 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.24人, 0.49人, 0.60人, 0.00人	1.000	式	64,681	64,681	歩A・単A S単 32号
S63003	3. 施設機能の検討 0.00人, 0.00人, 0.14人, 0.20人, 0.17人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	30,827	30,827	歩A・単A S単 20号
S63003	4. 施設の影響度評価 0.00人, 0.00人, 0.50人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	147,350	147,350	歩A・単A S単 21号
S63003	5. 性能低下要因の推定 0.00人, 0.00人, 0.40人, 0.43人, 0.42人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	75,984	75,984	歩A・単A S単 22号
S63003	6. 健全度評価 0.00人, 0.00人, 0.26人, 0.33人, 0.33人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	55,361	55,361	歩A・単A S単 23号
S63003	7. 性能低下予測 0.00人, 0.00人, 0.27人, 0.33人, 0.31人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	55,084	55,084	歩A・単A S単 24号
S63003	8. 管理水準の設定 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.77人, 1.47人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	120,673	120,673	歩A・単A S単 25号
S63003	9. 機能保全対策の検討 0.00人, 0.00人, 0.39人, 1.20人, 1.84人, 2.05人, 1.77人	1.000	式	345,567	345,567	歩A・単A S単 26号
S63003	1 0. 機能保全コストの算定 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.50人, 1.00人, 1.50人, 0.00人	1.000	式	144,350	144,350	歩A・単A S単 27号
S63003	1 1. 機能保全計画の策定 0.00人, 0.00人, 0.49人, 1.09人, 0.98人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	151,289	151,289	歩A・単A S単 28号
S63003	1 2. 農業水利ストック情報データの入力及び登録 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.45人, 0.45人, 0.00人	1.000	式	41,310	41,310	歩A・単A S単 29号
S63003	1 3. 点検とりまとめ 0.00人, 0.00人, 0.27人, 0.27人, 0.00人, 0.47人, 0.00人	1.000	式	56,020	56,020	歩A・単A S単 30号
合 計					1,515,023	
・ ・ ・ 設計作業費 設計業務 1-3 サイフォン(吐口部)		1.000	式	1,515,000	1,515,000	1 式当たり
S63003	1. 業務準備 0.00人, 0.00人, 0.36人, 0.60人, 0.55人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	90,199	90,199	歩A・単A S単 18号
S63003	2. 事前調査 (2-1 資料調査) 内業 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.55人, 1.11人, 1.11人, 0.00人	1.000	式	136,328	136,328	歩A・単A S単 19号
S63007	2. 事前調査 (2-2 問診調査) 外業 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.24人, 0.49人, 0.60人, 0.00人	1.000	式	64,681	64,681	歩A・単A S単 32号
S63003	3. 施設機能の検討 0.00人, 0.00人, 0.14人, 0.20人, 0.17人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	30,827	30,827	歩A・単A S単 20号
S63003	4. 施設の影響度評価 0.00人, 0.00人, 0.50人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	147,350	147,350	歩A・単A S単 21号

[illegible]

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永2号線他機能保全検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S02115	*** S単ー 1号 *** 技師 (A)					
	技師 (A)		人	62,600		歩A・単A
S02115	*** S単ー 2号 *** 技師 (B)					
	技師 (B)		人	49,300		歩A・単A
S02115	*** S単ー 3号 *** 技師 (C)					
	技師 (C)		人	42,500		歩A・単A
S02115	*** S単ー 4号 *** 技術員					
	技術員		人	36,700		歩A・単A
S63003	*** S単ー 5号 *** 1.業務準備					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.84人,1.09人,0.98人,0.00人,0.00人		式	176,104		歩A・単A
S63003	*** S単ー 6号 *** 2.事前調査(2-1 資料調査)内業					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.72人,1.44人,1.44人,0.00人		式	177,264		歩A・単A
S63003	*** S単ー 7号 *** 3.施設機能の検討					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.37人,0.90人,0.85人,0.00人,0.00人		式	124,478		歩A・単A
S63003	*** S単ー 8号 *** 4.施設の影響度評価					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.60人,1.14人,1.07人,0.00人,0.00人		式	166,655		歩A・単A
S63003	*** S単ー 9号 *** 5.性能低下要因の推定					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.65人,1.36人,1.18人,0.00人,0.00人		式	189,395		歩A・単A
S63003	*** S単ー 10号 *** 6.健全度評価					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.40人,1.12人,1.04人,1.20人,0.00人		式	200,744		歩A・単A
S63003	*** S単ー 11号 *** 7.性能低下予測					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.31人,0.79人,0.92人,0.55人,0.00人		式	140,164		歩A・単A
S63003	*** S単ー 12号 *** 8.管理水準の設定					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.48人,1.16人,0.00人,0.00人,0.00人		式	106,648		歩A・単A
S63003	*** S単ー 13号 *** 9.機能保全対策の検討					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.08人,2.17人,1.48人,0.00人,0.00人		式	285,378		歩A・単A
S63003	*** S単ー 14号 *** 10.機能保全コストの算定					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.42人,0.67人,1.19人,0.00人		式	109,898		歩A・単A
S63003	*** S単ー 15号 *** 11.機能保全計画の策定					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.74人,1.33人,1.29人,0.00人,0.00人		式	199,321		歩A・単A
S63003	*** S単ー 16号 *** 12.農業水利ストック情報データの入力及び登録					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.94人,0.94人,0.00人		式	86,292		歩A・単A
S63003	*** S単ー 17号 *** 13.点検とりまとめ					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.90人,0.70人,0.00人,0.90人,0.00人		式	145,880		歩A・単A
S63003	*** S単ー 18号 *** 1.業務準備					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.36人,0.60人,0.55人,0.00人,0.00人		式	90,199		歩A・単A
S63003	*** S単ー 19号 *** 2.事前調査(2-1 資料調査)内業					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.55人,1.11人,1.11人,0.00人		式	136,328		歩A・単A
S63003	*** S単ー 20号 *** 3.施設機能の検討					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.14人,0.20人,0.17人,0.00人,0.00人		式	30,827		歩A・単A
S63003	*** S単ー 21号 *** 4.施設の影響度評価					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.50人,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人		式	147,350		歩A・単A
S63003	*** S単ー 22号 *** 5.性能低下要因の推定					

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永2号線他機能保全検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 1号 ***					
S02115	技師 (A)		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師 (A)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04004 基 (D3)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04004	技師 (A)	1.000	人	62,600	62,600	
	合 計				62,600	算出数量 1.000 人
	単 価				62,600	
	*** S単- 2号 ***					
S02115	技師 (B)		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師 (B)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04005 基 (D3)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B)	1.000	人	49,300	49,300	
	合 計				49,300	算出数量 1.000 人
	単 価				49,300	
	*** S単- 3号 ***					
S02115	技師 (C)		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師 (C)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04006 基 (D3)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C)	1.000	人	42,500	42,500	
	合 計				42,500	算出数量 1.000 人
	単 価				42,500	
	*** S単- 4号 ***					
S02115	技術員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04007 基 (C)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04007	技術員	1.000	人	36,700	36,700	
	合 計				36,700	算出数量 1.000 人
	単 価				36,700	
	*** S単- 5号 ***					
S63003	1. 業務準備		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.84人,1.09人,0.98人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 主任技術者の人数 2) 技師長の人数 3) 主任技師の人数 4) 技師Aの人数 5) 技師Bの人数 6) 技師Cの人数 7) 技術員の数	0.00人 0.00人 0.84人 1.09人 0.98人 0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永 2 号線他機能保全検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
R04003	主任技師	0.840	人	70,900	59,556	
R04004	技師 (A)	1.090	人	62,600	68,234	
R04005	技師 (B)	0.980	人	49,300	48,314	
	合 計				176,104	算出数量 1.000 式
	単 価		式		176,104	
	*** S 単 - 6 号 ***					
S63003	2. 事前調査 (2-1 資料調査) 内業		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務 (直接人件費内業) 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.72人, 1.44人, 0.00人			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.00人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	0.72人				
	5) 技師 B の人数	1.44人				
	6) 技師 C の人数	1.44人				
	7) 技術員 の人数	0.00人				
R04004	技師 (A)	0.720	人	62,600	45,072	
R04005	技師 (B)	1.440	人	49,300	70,992	
R04006	技師 (C)	1.440	人	42,500	61,200	
	合 計				177,264	算出数量 1.000 式
	単 価		式		177,264	
	*** S 単 - 7 号 ***					
S63003	3. 施設機能の検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務 (直接人件費内業) 0.00人, 0.00人, 0.37人, 0.90人, 0.85人, 0.00人, 0.00人			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.37人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	0.90人				
	5) 技師 B の人数	0.85人				
	6) 技師 C の人数	0.00人				
	7) 技術員 の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.370	人	70,900	26,233	
R04004	技師 (A)	0.900	人	62,600	56,340	
R04005	技師 (B)	0.850	人	49,300	41,905	
	合 計				124,478	算出数量 1.000 式
	単 価		式		124,478	
	*** S 単 - 8 号 ***					
S63003	4. 施設の影響度評価		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務 (直接人件費内業) 0.00人, 0.00人, 0.60人, 1.14人, 1.07人, 0.00人, 0.00人			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.60人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	1.14人				
	5) 技師 B の人数	1.07人				
	6) 技師 C の人数	0.00人				
	7) 技術員 の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.600	人	70,900	42,540	
R04004	技師 (A)	1.140	人	62,600	71,364	
R04005	技師 (B)	1.070	人	49,300	52,751	
	合 計				166,655	算出数量 1.000 式

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永 2 号線他機能保全検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		式		166,655	
	*** S 単一 9号 ***					
S63003	5.性能低下要因の推定		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.65人,1.36人,1.18人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.65人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.36人				
	5)技師Bの人数	1.18人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.650	人	70,900	46,085	
R04004	技師 (A)	1.360	人	62,600	85,136	
R04005	技師 (B)	1.180	人	49,300	58,174	
	合 計				189,395	算出数量 1,000 式
	単 価		式		189,395	
	*** S 単一 10号 ***					
S63003	6.健全度評価		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.40人,1.12人,1.04人,1.20人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.40人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.12人				
	5)技師Bの人数	1.04人				
	6)技師Cの人数	1.20人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.400	人	70,900	28,360	
R04004	技師 (A)	1.120	人	62,600	70,112	
R04005	技師 (B)	1.040	人	49,300	51,272	
R04006	技師 (C)	1.200	人	42,500	51,000	
	合 計				200,744	算出数量 1,000 式
	単 価		式		200,744	
	*** S 単一 11号 ***					
S63003	7.性能低下予測		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.31人,0.79人,0.92人,0.55人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.31人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.79人				
	5)技師Bの人数	0.92人				
	6)技師Cの人数	0.55人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.310	人	70,900	21,979	
R04004	技師 (A)	0.790	人	62,600	49,454	
R04005	技師 (B)	0.920	人	49,300	45,356	
R04006	技師 (C)	0.550	人	42,500	23,375	
	合 計				140,164	算出数量 1,000 式
	単 価		式		140,164	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永 2 号線他機能保全検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単一 12号 ***					
S63003	8. 管理水準の設定		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.48人,1.16人,0.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	0.48人 1.16人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	0.00人 0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	0.480	人	70,900	34,032	
R04004	技師 (A)	1.160	人	62,600	72,616	
	合 計				106,648	算出数量 1,000 式
	単 価		式		106,648	
	*** S 単一 13号 ***					
S63003	9. 機能保全対策の検討		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.08人,2.17人,1.48人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	1.08人 2.17人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	1.48人 0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	1.080	人	70,900	76,572	
R04004	技師 (A)	2.170	人	62,600	135,842	
R04005	技師 (B)	1.480	人	49,300	72,964	
	合 計				285,378	算出数量 1,000 式
	単 価		式		285,378	
	*** S 単一 14号 ***					
S63003	10. 機能保全コストの算定		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.42人,0.67人,1.19人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	0.00人 0.42人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	0.67人 1.19人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04004	技師 (A)	0.420	人	62,600	26,292	
R04005	技師 (B)	0.670	人	49,300	33,031	
R04006	技師 (C)	1.190	人	42,500	50,575	
	合 計				109,898	算出数量 1,000 式
	単 価		式		109,898	
	*** S 単一 15号 ***					
S63003	11. 機能保全計画の策定		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.74人,1.33人,1.29人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	0.74人 1.33人		深夜時間:0.0		

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永2号線他機能保全検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	5)技師Bの人数	1.29人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.740	人	70,900	52,466	
R04004	技師 (A)	1.330	人	62,600	83,258	
R04005	技師 (B)	1.290	人	49,300	63,597	
	合 計				199,321	算出数量 1.000 式
	単 価		式		199,321	
	*** S単ー 16号 ***					
S63003	1 2. 農業水利ストック情報データの入力及び登録		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.94人,0.94人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.94人				
	6)技師Cの人数	0.94人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04005	技師 (B)	0.940	人	49,300	46,342	
R04006	技師 (C)	0.940	人	42,500	39,950	
	合 計				86,292	算出数量 1.000 式
	単 価		式		86,292	
	*** S単ー 17号 ***					
S63003	1 3. 点検とりまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.90人,0.70人,0.00人,0.90人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.90人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.70人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.90人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.900	人	70,900	63,810	
R04004	技師 (A)	0.700	人	62,600	43,820	
R04006	技師 (C)	0.900	人	42,500	38,250	
	合 計				145,880	算出数量 1.000 式
	単 価		式		145,880	
	*** S単ー 18号 ***					
S63003	1. 業務準備		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.36人,0.60人,0.55人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.36人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.60人				
	5)技師Bの人数	0.55人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.360	人	70,900	25,524	
R04004	技師 (A)	0.600	人	62,600	37,560	
R04005	技師 (B)	0.550	人	49,300	27,115	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永 2 号線他機能保全検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				90,199	算出数量 1.000 式
	単 価		式		90,199	
	*** S 単一 19号 ***					
S63003	2. 事前調査 (2-1 資料調査) 内業		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.55人,1.11人,1.11人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.55人				
	5)技師Bの人数	1.11人				
	6)技師Cの人数	1.11人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A)	0.550	人	62,600	34,430	
R04005	技師 (B)	1.110	人	49,300	54,723	
R04006	技師 (C)	1.110	人	42,500	47,175	
	合 計				136,328	算出数量 1.000 式
	単 価		式		136,328	
	*** S 単一 20号 ***					
S63003	3. 施設機能の検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.14人,0.20人,0.17人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.14人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.20人				
	5)技師Bの人数	0.17人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.140	人	70,900	9,926	
R04004	技師 (A)	0.200	人	62,600	12,520	
R04005	技師 (B)	0.170	人	49,300	8,381	
	合 計				30,827	算出数量 1.000 式
	単 価		式		30,827	
	*** S 単一 21号 ***					
S63003	4. 施設の影響度評価		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.50人,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.500	人	70,900	35,450	
R04004	技師 (A)	1.000	人	62,600	62,600	
R04005	技師 (B)	1.000	人	49,300	49,300	
	合 計				147,350	算出数量 1.000 式
	単 価		式		147,350	
	*** S 単一 22号 ***					

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永 2 号線他機能保全検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S63003	5.性能低下要因の推定		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.00人, 0.40人, 0.43人, 0.42人, 0.00人, 0.00人			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.40人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	0.43人				
	5) 技師 B の人数	0.42人				
	6) 技師 C の人数	0.00人				
	7) 技術員 の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.400	人	70,900	28,360	
R04004	技師 (A)	0.430	人	62,600	26,918	
R04005	技師 (B)	0.420	人	49,300	20,706	
	合 計				75,984	算出数量 1,000 式
	単 価		式		75,984	
	*** S 単 - 23号 ***					
S63003	6.健全度評価		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.00人, 0.26人, 0.33人, 0.33人, 0.00人, 0.00人			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.26人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	0.33人				
	5) 技師 B の人数	0.33人				
	6) 技師 C の人数	0.00人				
	7) 技術員 の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.260	人	70,900	18,434	
R04004	技師 (A)	0.330	人	62,600	20,658	
R04005	技師 (B)	0.330	人	49,300	16,269	
	合 計				55,361	算出数量 1,000 式
	単 価		式		55,361	
	*** S 単 - 24号 ***					
S63003	7.性能低下予測		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.00人, 0.27人, 0.33人, 0.31人, 0.00人, 0.00人			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.27人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	0.33人				
	5) 技師 B の人数	0.31人				
	6) 技師 C の人数	0.00人				
	7) 技術員 の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.270	人	70,900	19,143	
R04004	技師 (A)	0.330	人	62,600	20,658	
R04005	技師 (B)	0.310	人	49,300	15,283	
	合 計				55,084	算出数量 1,000 式
	単 価		式		55,084	
	*** S 単 - 25号 ***					
S63003	8.管理水準の設定		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.77人, 1.47人, 0.00人, 0.00人			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.00人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	0.77人				

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永2号線他機能保全検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	5)技師Bの人数	1.47人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A)	0.770	人	62,600	48,202	
R04005	技師 (B)	1.470	人	49,300	72,471	
	合 計				120,673	算出数量 1.000 式
	単 価		式		120,673	
	*** S単ー 26号 ***					
S63003	9.機能保全対策の検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.39人,1.20人,1.84人,2.05人,1.77人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.39人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.20人				
	5)技師Bの人数	1.84人				
	6)技師Cの人数	2.05人				
	7)技術員の人数	1.77人				
R04003	主任技師	0.390	人	70,900	27,651	
R04004	技師 (A)	1.200	人	62,600	75,120	
R04005	技師 (B)	1.840	人	49,300	90,712	
R04006	技師 (C)	2.050	人	42,500	87,125	
R04007	技術員	1.770	人	36,700	64,959	
	合 計				345,567	算出数量 1.000 式
	単 価		式		345,567	
	*** S単ー 27号 ***					
S63003	10.機能保全コストの算定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.50人,1.00人,1.50人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	1.50人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A)	0.500	人	62,600	31,300	
R04005	技師 (B)	1.000	人	49,300	49,300	
R04006	技師 (C)	1.500	人	42,500	63,750	
	合 計				144,350	算出数量 1.000 式
	単 価		式		144,350	
	*** S単ー 28号 ***					
S63003	11.機能保全計画の策定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.49人,1.09人,0.98人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.49人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.09人				
	5)技師Bの人数	0.98人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.490	人	70,900	34,741	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永2号線他機能保全検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R04004	技師 (A)	1.090	人	62,600	68,234	
R04005	技師 (B)	0.980	人	49,300	48,314	
	合 計				151,289	算出数量 1.000 式
	単 価		式		151,289	
	*** S単ー 29号 ***					
S63003	1 2. 農業水利ストック情報データの入力及び登録		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.45人, 0.45人, 0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	0.00人 0.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	0.45人 0.45人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04005	技師 (B)	0.450	人	49,300	22,185	
R04006	技師 (C)	0.450	人	42,500	19,125	
	合 計				41,310	算出数量 1.000 式
	単 価		式		41,310	
	*** S単ー 30号 ***					
S63003	1 3. 点検とりまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.00人, 0.27人, 0.27人, 0.00人, 0.47人, 0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	0.27人 0.27人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	0.00人 0.47人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	0.270	人	70,900	19,143	
R04004	技師 (A)	0.270	人	62,600	16,902	
R04006	技師 (C)	0.470	人	42,500	19,975	
	合 計				56,020	算出数量 1.000 式
	単 価		式		56,020	
	*** S単ー 31号 ***					
S63007	2. 事前調査 (2-2 問診調査) 外業		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人, 0.00人, 0.00人, 1.11人, 1.11人, 0.00人, 0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	0.00人 1.11人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	1.11人 0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04004	技師 (A) 外業	1.110	人	62,600	69,486	
R04005	技師 (B) 外業	1.110	人	49,300	54,723	
	合 計				124,209	算出数量 1.000 式
	単 価		式		124,209	
	*** S単ー 32号 ***					

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永2号線他機能保全検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S63007	2.事前調査(2-2 問診調査)外業		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.24人,0.49人,0.60人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.24人				
	5)技師Bの人数	0.49人				
	6)技師Cの人数	0.60人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A) 外業	0.240	人	62,600	15,024	
R04005	技師 (B) 外業	0.490	人	49,300	24,157	
R04006	技師 (C) 外業	0.600	人	42,500	25,500	
	合 計				64,681	算出数量 1,000 式
	単 価		式		64,681	
	*** S単ー 33号 ***					
S63010	一般工種、着手前、最終		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種、着手前・最終、1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.2日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ	着手前・最終		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				
R04003	主任技師	0.700	人	70,900	49,630	
R04004	技師 (A)	0.700	人	62,600	43,820	
	合 計				93,450	算出数量 1,000 回
	単 価		回		93,450	
	*** S単ー 34号 ***					
S63010	一般工種、中間		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種、中間、0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.2日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ	中間		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				
R04004	技師 (A)	0.700	人	62,600	43,820	
R04005	技師 (B)	0.700	人	49,300	34,510	
	合 計				78,330	算出数量 1,000 回
	単 価		回		78,330	
	*** S単ー 35号 ***					
S63018	旅費交通費 (設計外業日帰用)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業日帰用) ライトバン,2日,4時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分	ライトバン		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)高速道路往復料金 (税別)	2,962円		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円		深夜時間:0.0		
	4)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金 (税別)	0円				

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	筑後川下流地区徳永 2 号線他機能保全検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	7)ライトバン使用日数の入力	2日				
	8)時間区分	4時間				
	9)設計用技師長外業日数	0.000日				
	10)設計用主任技師外業日数	0.000日				
	11)設計用技師 A 外業日数	2.000日				
	12)設計用技師 B 外業日数	2.000日				
	13)設計用技師 C 外業日数	1.000日				
	14)設計用技術員外業日数	0.000日				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	2.000	式	2,962	5,924	
M28121	ライトバン[カブリンエンジン駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	2,560	5,120	
P34001	ガソリン					
	J I S 2 号 レギュラースタンド	21.600	L	152	3,283	
	合 計				14,327	算出数量 1.000 式
	単 価		式		14,327	
	*** S 単一 36号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1. A - 4, 1000, 10cm, 0			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)報告書部数(部)	1.000				
	2)規格区分	A - 4				
	3)枚数区分(枚)	1000				
	4)厚さ区分	10cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43504	報告書焼付代 (コピー)					
	A - 4 以下 1 0 0 0 枚	1.000	部	12,700	12,700	
P43544	簡易加除式ファイル					
	A 4 縦型幅10cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	886	886	
P43602	C D - R					
	C D - R (記録面色素フタロシアニン) 7 0 0 MB	0.000	枚	47	0	
	合 計				13,586	算出数量 1.000 式
	単 価		式		13,586	
	*** S 単一 37号 ***					
S63031	《打合せ (設計旅費・交通費)》		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	《打合せ (設計旅費・交通費)》			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種・解析等調査業務, 着手前・最終, 通勤により打合せ, 一般			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	交通機関, 0日,			深夜時間:0.0		
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務				
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師 A 配置人員	1人				
	5)技師 B 配置人員	0人				
	6)技師 C 配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	一般交通機関				
	9)高速道路往復料金 (税別)	0円				
	10)鉄道往復1人当料金 (税別)	1,800円				
	11)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	12)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	13)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	14)ライトバン使用日数	0日				
	16)宿泊料金 1 式当料金 (税別)	0円				
	17)宿泊手当 1 式当料金 (税別)	0円				
	18)落札率	0.000000				
P54306	鉄道料金					
	消費税抜き	2.000	人	1,800	3,600	
	合 計				3,600	算出数量 1.000 回
	単 価		回		3,600	
	*** S 単一 38号 ***					
S63031	《打合せ (設計旅費・交通費)》		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	《打合せ (設計旅費・交通費)》			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種・解析等調査業務, 中間, 通勤により打合せ, 一般交通機関,			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	0日,					

[illegible]

[illegible]

令和 8 年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
筑後川下流地区徳永 2 号線他機能保全検討業務

特 別 仕 様 書

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所

第 1 章 総 則

(適用範囲)

第 1－1 条 令和 8 年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業筑後川下流地区徳永 2 号線他機能保全検討業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下、「共通仕様書」という。)による他、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目 的)

第 1－2 条 本業務は、国営筑後川下流土地改良事業で造成された幹線水路徳永 1 号線・2 号線に係るサイフォン(管路、呑口部及び吐口部)一式ならびに制水門、橋梁の土木構造物について、機能診断調査および機能保全計画の策定を行うものである。

(場 所)

第 1－3 条 本業務において対象とする施設の場所は、佐賀県佐賀市地内で、別添位置図に示すとおりである。

(土地の立入り等)

第 1－4 条 作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書第 1－16 条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(低入札価格契約における第三者照査)

第 1－5 条

- 1 予算決算及び会計令(以下、「予決令」という。)第 85 条の基準に基づく価格(以下、「調査基準価格」という。)を下回る価格で契約した場合においては、受注者は「業務請負契約書第 1 1 条照査技術者」及び「共通仕様書第 1－7 条照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において共通仕様書等を基本とする第三者の照査(以下、「第三者照査」という。)を実施しなければならない。
- 2 第三者照査の企業に要求される資格
 - (1) 予決令第 98 条において準用する予決令第 70 条及び第 71 条の規定に該当していないこと。
 - (2) 九州農政局において、令和 7、8 年度(当該業種区分)の一般競争(指名競争)参加資格の認定を受けていること。
 - (3) 九州農政局長から、建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
 - (4) 共通仕様書第 1-30 条守秘義務を遵守できるものであること。
 - (5) 中立的、公平な立場で照査が可能な者であること。なお、第三者照査を実施するものは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。
 - ① 資本関係
 - (ア) 親会社と子会社の関係にある
 - (イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある
 - ② 人的関係
一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている
- 3 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格
第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下の者であること。
 - (1) 照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
 - (2) 照査技術者と同等の技術者資格を有する者

4 照査技術者の通知

受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

5 照査計画

受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査とあわせて業務計画書に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。

また、照査結果及び照査状況については、その都度監督職員に報告しなければならない。

6 報告書原稿作成段階時打合せへの立会い

特別仕様書第4-1条業務打合せに示す打合せのうち、報告書原稿作成段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。

7 第三者照査の照査技術者のAGRIS登録

共通仕様書第1-12条の農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス(AGRIS)の登録に当たっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。

8 契約不適合責任

引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないもの（以下、「契約不適合」という。）であるときは、業務請負契約書第41条（契約不適合責任）のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することができるものであり、第三者照査を実施したものが責任を負うものではない。

（履行確実性評価の達成状況の確認）

第1-6条 本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評価に厳格に反映させるものとする。

- 1 審査項目a)～c)において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- 2 審査項目d)において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- 3 その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- 4 業務成果品のミス、不備等

（一般事項）

第1-7条 業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- 1 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。
- 2 作業実施の順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。

（管理技術者）

第1-8条

- 1 管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士、農業水利施設機能総合診断士以外の業務に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
-----	------	------

技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木 農業農村工学
博 士	当該業務に関連する 学術部門	—
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	—

2 予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格(以下、「調査基準価格」という。)を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

(担当技術者)

第1－9条 担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1－10条

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- 1 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- 2 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

(保険加入)

第1－11条

受注者は、共通仕様書第1-37条に記載されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。

また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(適用する図書)

第2－1条 設計の基本的事項に関しては、次の図書を優先して適用するものとする。

なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

番号	名 称	発 行	制定(改定)年月
1	農業水利施設の機能保全の手引き	農林水産省農村振興局 整備部 設計課	令和5年4月
2	農業水利施設の機能保全の手引き 「パイプライン」		令和8年3月
3	農業水利施設の機能保全の手引き 「開水路」		平成28年8月
4	農業水利施設の機能保全に関する調査計画の参考資料(案)(計画編/調査編)		—

(作業条件)

第2-2条 本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- 1 作業の実施にあたっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員及び監督職員が指示する関係機関と十分打合せを行い、手戻りの発生を防止する。
- 2 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理する。
- 3 調査対象施設は、通常の使用状態を想定しているが、作業上支障となる事態が発生した場合は、監督職員と協議する。
- 4 現地調査の実施にあたり、仮設等が必要となった場合は監督職員と協議する。
- 5 本仕様書におけるサイフォン一式は、管路、呑口部及び吐口部を指すものとする。
各調査範囲は以下に示すものとする。

- (1) 管路の作業範囲は、呑口部の落ち込み床（水叩き）下流端に位置する管路入口（ノズル）以降から出口までとする。
- (2) 呑口部の作業範囲（制水門側構造物）は、10号制水門（上流側ゲート）直下から管路入口（ノズル）までとする。
なお、呑口部に含まれる構造は、呑口（ノズル）構造、軽量コンクリート充填部、落差部（落ち込み部）、落ち込み床（水叩き）及び、軽量コンクリート蓋を含むものとする。
- (3) 吐口部の範囲は、管路出口から9号制水門（下流側ゲート）直前までとする。
また、軽量コンクリート蓋を含むものとする。
- (4) 制水門の施設対象は第2-3条に示すとおりである。
なお、制水門および操作台の土木構造物を対象とする。
- (5) 橋梁の施設対象は第2-3条に示すとおりである。
なお、橋梁（17号橋梁）については全面を対象とし、その他の橋梁についてはボックスカルバート内部及び橋梁張り出し部の土木構造物を対象とする。

6 サイフォン一式に関する調査事項

管内調査時期は11月以降とするが、詳細は監督職員と協議の上で決定する。

なお、全工程において、安全確保を徹底するものとする。

- (1) 呑口部側の軽量コンクリート蓋（800kg/枚程度）については、1枚ずつ状態を確認しながら仮撤去を行うものとし、計7枚の仮撤去を想定している。
- (2) 蓋撤去後、排水ポンプを設置して落水を行う（総排水量：約553m³を想定）。
落水終了後は、送風機および補助送風機により十分な換気を行い、安全を確保したうえで管内調査を実施する。
- (3) 全調査終了後は、使用機材を撤去し、仮置きした軽量コンクリート蓋を復旧する。
- (4) 閉鎖空間作業に該当する場所については、酸素濃度および有害ガス濃度を測定し、必要な換気と退避ルート・監視体制を確保するものとする。
換気にあたっては、送風ダクトを底部まで配置し、十分な換気を行った後に立ち入りを行う。
- (5) 管内調査時の仮設工については、現地状況により変更が生じた場合、監督職員と協議する。
- (6) 管内落水作業で発生する汚泥等については、必要に応じて監督職員と協議のうえ、適切に処理する。
- (7) 調査方法または工程に支障が生じた場合は、その都度監督職員と協議する。

7 制水門及び橋梁に関する調査事項

制水門及び橋梁の調査に関しては、止水を行わないことから、ボート等を用いて調査を実施するものとする。

なお、水中部については、本業務における調査対象外とする。

(対象施設)

第2-3条 本業務の対象となる施設の諸元は、次のとおりである。

施設名称	対象施設名	備考
------	-------	----

徳永 1 号線 徳永 2 号線	管路 (φ 2000 mm, L=92m)	—	
	呑口部 (257m ²)	—	
	吐口部 (269m ²)	—	
徳永 2 号線	5 号制水門 (113m ²)	橋梁 (1 7 号橋梁) (80m ²)	
	6 号制水門 (81m ²)	十五橋 (2 1 号橋梁) (195m ²)	
	7 号制水門 (49m ²)	橋梁 (2 6 号橋梁) (158m ²)	
	8 号制水門 (42m ²)	山津橋 (3 0 号橋梁) (103m ²)	
	9 号制水門 【佐賀江川連絡水路ゲート下流側ゲート】 (22m ²)	—	
	1 0 号制水門 【佐賀江川連絡水路ゲート上流側ゲート】 (42m ²)	—	

(参考図書)

第 2－4 条

本業務で参考にする図書は、共通仕様書第 2-1 条によるほか次表によるものとする。

番号	図書・資料名	発行	制定(改訂)年月
1	コンクリートのひび割れ調査、 補修・補強指針-2022-	(公) 日本コンクリート 工学工	令和 4 年 6 月
2	コンクリート診断技術 ‘25		令和 7 年 6 月
3	コンクリート標準示方書 (設計編)	(公) 土木学会	令和 5 年 3 月
4	コンクリート標準示方書 (施工編)		令和 5 年 9 月
5	コンクリート標準示方書 (維持管理編)		令和 5 年 3 月

(貸与資料)

第 2－5 条 貸与資料は、次のとおりである

分 類	資 料 名	数 量
1	国営かんがい排水事業筑後川下流地区事業誌	1 式

2	国営筑後川下流土地改良事業 施設管理図	1 式
3	平成 29 年度 国営造成水利施設保全対策指導事業 筑後川下流地区 水門施設機能保全検討業務 報告書	1 式
4	平成 29 年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 筑後川下流（佐賀）地区機能保全検討業務	1 式
5	令和 2 年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 筑後川 下流地区幹線水路徳永線他機能保全検討業務 報告書	1 式
6	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	1 式

（参考図書及び貸与資料の取扱い）

第 2－6 条 第 2－4 条、第 2－5 条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは、次のとおりとする。

- 1 参考図書及び貸与資料の記載事項で相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- 2 参考図書は、施設機能診断作業時点の最新版を用いることとし、改定された場合は、監督職員と協議するものとする。
- 3 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員から請求があった場合のほか、完了検査までに一括返納しなければならない。

第 3 章 作業内容

（作業項目及び数量）

第 3－1 条 本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細な作業内容および対象範囲は、別紙 1 から別紙 4 の「作業項目内訳表」とおりである。

【作業項目及び数量】

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 機能診断調査	1 式	(調査作業) サイフォン一式（管路、呑口部、吐口部）及び制水門・橋梁
2. 機能保全計画の策定	1 式	(設計作業) サイフォン一式（管路、呑口部、吐口部）

（作業内容）

第 3－2 条

- 1 機能診断調査に係る現地調査、機能保全計画策定についての作業内容及び作業数量については、別紙 1～4 「作業項目内訳表」によるものとする。
また、作業は施設管理者と調整の上で行う。
- 2 調査結果については、農業水利ストック情報データベースの登録情報データ外部入出力機能を利用して記録するものとし、記録した電子データは成果物に含むものとする。

（作業の留意点）

第 3－3 条 業務の実施あたって、特に留意する点は次のとおりとする。

- 1 現地調査において著しく機能が低下している施設を発見した場合は、遅滞なく監督職員へ報告するものとする。
- 2 現地踏査施設の状況確認においては、できる限り施設管理者の同行により意見・助言を受けて実施するものとする。
- 3 対策内容の検討にあたっては、当該施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- 4 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- 5 第2－4条及び共通仕様書に示す貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- 6 機能保全対策シナリオの検討にあたっては、最新の新素材、新工法などの技術情報の収集に努めた上で、比較検討を行う。新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース(NNTD)及び新技術情報システム(NETIS)等を積極的に活用しなければならない。
 - ・農業農村整備民間技術情報データベース(NNTD)については、
<https://nn-techinfo.jp/>を参照。
 - ・新技術情報システム(NETIS)については、
<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS>を参照。
- 7 対策内容の検討にあたっては、事業への適用性や施設管理者の管理体制等を総合的に検討する。
- 8 数量計算にあたっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。
 - ・「工事工種の体系化」は、http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/を参照。
- 9 共通仕様書第1－11条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないものとする。
- 10 農業水利ストック情報データの作成は、機能診断情報記入用Excelファイルによる入力のほか、登録情報データ外部入出力機能等を適宜使用することを基本とするが、作業方法、内容等について監督職員と十分協議を行ったうえ作業を行うものとする。
なお、作成した電子データは成果物に含むものとする

(業務写真における黒板情報の電子化)

第3－4条 黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。

黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の1から4によりこれを実施するものとする。

1 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

2 機器等の導入

(1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

(2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

3 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- (1) 受注者は、1の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- (2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。
なお、上記1に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- (2) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

4 写真の納品

受注者は、3に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時 URL(https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

5 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

(打合せ)

第4-1条 共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。
また、初回及び最終回の打合せには、管理技術者が出席するものとする。

- 初回 作業着手の段階
- 第2回 中間打合せ(対策実施シナリオの作成段階)
- 第3回 中間打合せ(機能保全コストの算定の段階)
- 第4回 中間打合せ(機能保全計画の策定段階)
- 最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第5章 成果物

(成果物)

第5-1条 成果物を共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- 1 成果物の電子媒体(CD-R 若しくはDVD-R) 正副2部
- 2 成果物の出力1部(電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可)
- 3 開示用電子媒体1部(個人情報等を適切に処理したもの)

(成果物の提出先)

第5-2条 成果物の提出先は、次のとおりとする。

福岡県久留米市荒木町白口891-20

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所

第6章 契約変更

(契約変更)

第6-1条 業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- 1 第2-2条に示す「作業条件」に変更が生じた場合。
- 2 第2-3条に示す「対象施設」に変更が生じた場合。
- 3 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- 4 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- 5 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- 6 履行期間の変更が生じた場合。
- 7 関係機関等対外的協議等により設計計画等に変更が生じた場合。
- 8 その他

第6-2条 (業務スライドの試行)

- (1) 本業務は、「建設コンサルタント業務等における賃金等の変動に基づく業務費の変更の取扱いについて(試行)」(令和7年12月17日付け7農振第2167号農村振興局整備部設計課長通知)(URL「<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/attach/pdf/index-256.pdf>」)に基づく試行業務である。
- (2) 発注者又は受注者は、履行期間内で業務契約締結の日から12月を経過した後に日本国内における賃金水準又は物価水準の変動により業務費が不適当となったと認めたときは、相手方に対して業務費の変更を請求することができる。
- (3) 発注者又は受注者は、(2)の規定による請求があったときは、変動前残業務費(業務費から当該請求時の履行済部分に相応する業務費を控除した額をいう。以下この条において同じ。)と変動後残業務費(変動後の賃金又は物価を基礎として算出した変動前残業務費に相応する額をいう。以下この条において同じ。)との差額のうち変動前残業務費の1000分の15を超える額につき、業務費の変更に応じなければならない。
- (4) 変動前残業務費及び変動後残業務費は、請求のあった日を基準とし、物価指数等に基づき発注者と受注者とが協議して定める。
ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。
- (5) (2)の規定による請求は、この条の規定により業務費の変更を行った後再度行うことができる。この場合において、(2)中「業務契約締結の日」とあるのは、「直前のこの条に基づく業務費変更の基準とした日」とするものとする。
- (6) 予期することのできない特別の事情により、履行期間内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、業務費が著しく不適当となったときは、発注者又は受注者は、(2)～(5)の定めにかかわらず、業務費の変更を請求することができる。
- (7) (6)の場合において、業務費の変更額については、発注者と受注者とが協議して定める。
ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。
- (8) (4)及び(7)の協議開始の日については、発注者が受注者の意見を聴いて定め、受注者に通知しなければならない。
ただし、発注者が(2)、(6)の請求を行った日又は受けた日から7日以内に協議開始の日を通知しない場合には、受注者は、協議開始の日を定め、発注者に通知することができる。
- (9) 業務スライドの試行に係る運用については、(1)に記載の通知に基づくものとする。

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

第7-1条 この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【別紙 1－1】 サイフォン（管路）：（φ2000 mm, L=92m） 機能診断調査 作業項目内訳表

作 業 項 目	作業内容	数量
1. 管内調査		
内面目視・たわみ状況	管内面の腐食・摩耗、継手部・ライニング、堆積状況、漏水・滲水の確認し、スケッチの作成および写真撮影を行い、記録する。 また、縦・横方向のたわみ状況について、上流・中間・下流の3断面で測定・記録し、とりまとめを行う。	1 施設

【別紙 1－2】 サイフォン（呑口部） 機能診断調査 作業項目内訳表

作 業 項 目	作 業 内 容	数量
1. 現地踏査	現地調査の実施手順を決定するために、事前調査で得られた情報をもとに遠隔目視により変状の有無や変状箇所の特定を行い、踏査結果を整理する。 また、踏査結果を踏まえ、現地調査箇所や調査項目、調査方法を決定する。	1 施設
2. 現地調査 (1) 近接目視	事前調査、現地踏査により得られた情報をもとに、現地踏査により決定した調査地点において、目視や簡易な器具による計測器等の調査を行い、変状等を定量的に把握（ひび割れ・欠損・変形等計測、周辺観察等を含む）するとともに、スケッチの作成及び写真撮影をして記録する。	1 施設 (257m ²)
(2) コンクリート 強度推定調査	リバウンドハンマーによりコンクリート表面を打撃し、反発度を測定することで強度を推定する。（JIS A 1155）	1 測点
(3) 鉄筋探査	中性化深さ調査の削孔位置を適正化し、評価精度の向上を図るため、鉄筋探査器により鉄筋位置及びかぶりの探査を行う。	1 箇所
(4) 中性化深さ 調査（ドリル法）	コンクリートドリルにより削孔し、その削粉を用いて中性化深さを測定する。（NDIS3419-1999）	1 箇所

【別紙 1－3】 サイフォン（吐口部） 機能診断調査 作業項目内訳表

作 業 項 目	作 業 内 容	数量
2. 現地踏査	現地調査の実施手順を決定するために、事前調査で得られた情報をもとに遠隔目視により変状の有無や変状箇所の特定を行い、踏査結果を整理する。 また、踏査結果を踏まえ、現地調査箇所や調査項目、調査方法を決定する。	1 施設

2. 現地調査 (1) 近接目視	事前調査、現地踏査により得られた情報をもとに、現地踏査により決定した調査地点において、目視や簡易な器具による計測器等の調査を行い、変状等を定量的に把握（ひび割れ・欠損・変形等計測、周辺観察等を含む）するとともに、スケッチの作成及び写真撮影をして記録する。	1 施設 (269m ²)
(2) コンクリート 強度推定調査	リバウンドハンマーによりコンクリート表面を打撃し、反発度を測定することで強度を推定する。（JIS A 1155）	1 測点
(3) 鉄筋探査	中性化深さ調査の削孔位置を適正化し、評価精度の向上を図るため、鉄筋探査器により鉄筋位置及びかぶりの探査を行う。	1 箇所
(4) 中性化深さ 調査（ドリル法）	コンクリートドリルにより削孔し、その削粉を用いて中性化深さを測定する。（NDIS3419-1999）	1 箇所

【別紙 2】 制水門：（土木構造物） 機能診断調査 作業項目内訳表

作 業 項 目	作 業 内 容	数 量
1. 現地踏査	現地調査の実施手順を決定するために、事前調査で得られた情報をもとに遠隔目視により変状の有無や変状箇所の特定を行い、踏査結果を整理する。 また、踏査結果を踏まえ、現地調査箇所や調査項目、調査方法を決定する。	6 施設
2. 現地調査 (1) 近接目視	事前調査、現地踏査により得られた情報をもとに、現地踏査により決定した調査地点において、目視や簡易な器具による計測器等の調査を行い、変状等を定量的に把握（ひび割れ・欠損・変形等計測、周辺観察等を含む）するとともに、スケッチの作成及び写真撮影をして記録する。	349m ²
(2) コンクリート 強度推定調査	リバウンドハンマーによりコンクリート表面を打撃し、反発度を測定することで強度を推定する。（JIS A 1155）	6 測点
(3) 鉄筋探査	中性化深さ調査の削孔位置を適正化し、評価精度の向上を図るため、鉄筋探査器により鉄筋位置及びかぶりの探査を行う。	6 箇所
(4) 中性化深さ調査 （ドリル法）	コンクリートドリルにより削孔し、その削粉を用いて中性化深さを測定する。（NDIS3419-1999）	6 箇所

【別紙 3】 橋梁：（土木構造物） 機能診断調査 作業項目内訳表

作 業 項 目	作 業 内 容	数 量
1. 現地踏査	現地調査の実施手順を決定するために、事前調査で得られた情報をもとに遠隔目視により変状の有無や変状箇所の特定を行い、踏査結果を整理する。 また、踏査結果を踏まえ、現地調査箇所や調査項目、調査方法を決定する。	4 施設
2. 現地調査 (1) 近接目視	事前調査、現地踏査により得られた情報をもとに、現地踏査により決定した調査地点において、目視や簡易な器具による計測器等の調査を行い、変状等を定量的に把握（ひび割れ・欠損・変形等計測、周辺観察等を含む）するとともに、スケッチの作成及び写真撮影をして記録する。	536m ²
(2) コンクリート 強度推定調査	リバウンドハンマーによりコンクリート表面を打撃し、反発度を測定することで強度を推定する。（JIS A 1155）	4 測点
(3) 鉄筋探査	中性化深さ調査の削孔位置を適正化し、評価精度の向上を図るため、鉄筋探査器により鉄筋位置及びかぶりの探査を行う。	4 箇所
(4) 中性化深さ調査 （ドリル法）	コンクリートドリルにより削孔し、その削粉を用いて中性化深さを測定する。（NDIS3419-1999）	4 箇所

【別紙 4－1】 サイフォン（管路）：（φ2000 mm, L=92m） 機能保全計画の策定 作業項目内訳表

作 業 項 目	作 業 内 容	数 量
1. 業務準備	調査対象施設の周辺の地形、現況、諸施設について調査し、業務実施計画書策定のために必要な現地調査を行う。	1 式
2. 事前調査		
2-1. 資料調査	施設完成時の設計図書及び施設管理記録、地域特性に係る資料等を収集・整理し、診断評価の基礎材料とする。	1 式
2-2. 問診調査	施設管理者等から日常利用、操作等の不具合・変状箇所・補修履歴等について聞き取り調査を行い、施設機能に関する課題、問題点を把握・整理する。	1 式
3. 施設機能の検討	資料調査及び問診調査を基に、安全性、水利的な機能及び環境面からの要求機能について整理し、診断の重点を設定するほか、要求機能を満足するための要求性能を設定する。	1 式
4. 施設の影響度評価	事前調査及び現地踏査結果を基に、施設の影響度を評価する。	1 式

5. 性能低下要因の推定	事前調査及び現地調査結果を基に、性能低下の推定を行う。 また、環境(周辺環境等)条件による性能低下の可能性があるか推定する。	1 式
6. 健全度評価	調査結果に基づき、調査単位毎に施設の健全度の判定を行う。	1 式
7. 性能低下予測	性能低下要因推定結果、健全度判定結果等を踏まえ、現況施設の性能判定を行うとともに、性能管理指標を選定し、現地条件に適合する性能低下予測手法により、性能低下予測を行う。	1 式
8. 管理水準の設定	性能低下予測の結果を基に、構造の安全率、施設の重要度及び経済性を踏まえ、各施設の管理水準を設定する。	1 式
9. 機能保全対策の検討	施設別に現地状況に適合する対策工法を複数選定し、選定された対検討策工法・実施時期、実施範囲を組み合わせ対策シナリオを複数作成する。	1 式
10. 機能保全コストの算定	対策シナリオ毎に機能保全コストを算定し、比較する。(コスト算定のために必要な数量計算、設計図面作成を含む。)	1 式
11. 機能保全計画の策定	機能保全コストを最小とすることを基本とした上で、施設重要度を踏まえたリスクや、環境との調和、維持管理の容易さ等、多様な側面も総合的に検討し、機能保全計画を策定する。 なお、状況監視等を継続する必要があると認められる施設については、経年変化状況把握などのための施設監視計画を作成する。	1 式
12. 農業水利ストック情報データの入力及び登録	上記の作業において作成した資料により農業水利ストック情報データベースの入力及び登録を行う。	1 式
13. 点検とりまとめ	各作業項目の成果物の点検、とりまとめ及び報告書の作成を行う。	1 式

【別紙 4-2】 サイフォン（呑口部） 機能保全計画の策定 作業項目内訳表

作 業 項 目	作 業 内 容	数量
1. 業務準備	調査対象施設の周辺の地形、現況、諸施設について調査し、業務実施計画書策定のために必要な現地調査を行う。	1 式
2. 事前調査		
2-1. 資料調査	施設完成時の設計図書及び施設管理記録、地域特性に係る資料等を収集・整理し、診断評価の基礎材料とする。	1 式
2-2. 問診調査	施設管理者等から日常利用、操作等の不具合・変状箇所・補修履歴等について聞き取り調査を行い、施設機能に関する課題、問題点を把握・整理する。	1 式

3. 施設機能の検討	資料調査及び問診調査を基に、安全性、水利的な機能及び環境面からの要求機能について整理し、診断の重点を設定するほか、要求機能を満足するための要求性能を設定する。	1 式
4. 施設の影響度評価	事前調査及び現地踏査結果を基に、施設の影響度を評価する。	1 式
5. 性能低下要因の推定	事前調査及び現地調査結果を基に、性能低下の推定を行う。 また、環境(周辺環境等)条件による性能低下の可能性があるか推定する。	1 式
6. 健全度評価	調査結果に基づき、調査単位毎に施設の健全度の判定を行う。	1 式
7. 性能低下予測	性能低下要因推定結果、健全度判定結果等を踏まえ、現況施設の性能判定を行うとともに、性能管理指標を選定し、現地条件に適合する性能低下予測手法により、性能低下予測を行う。	1 式
8. 管理水準の設定	性能低下予測の結果を基に、構造の安全率、施設の重要度及び経済性を踏まえ、各施設の管理水準を設定する。	1 式
9. 機能保全対策の検討	施設別に現地状況に適合する対策工法を複数選定し、選定された対検討策工法・実施時期、実施範囲を組み合わせ対策シナリオを複数作成する。	1 式
10. 機能保全コストの算定	対策シナリオ毎に機能保全コストを算定し、比較する。(コスト算定のために必要な数量計算、設計図面作成を含む。)	1 式
11. 機能保全計画の策定	機能保全コストを最小とすることを基本とした上で、施設重要度を踏まえたリスクや、環境との調和、維持管理の容易さ等、多様な側面も総合的に検討し、機能保全計画を策定する。 なお、状況監視等を継続する必要があると認められる施設については、経年変化状況把握などのための施設監視計画を作成する。	1 式
12. 農業水利ストック情報データの入力及び登録	上記の作業において作成した資料により農業水利ストック情報データベースの入力及び登録を行う。	1 式
13. 点検とりまとめ	各作業項目の成果物の点検、とりまとめ及び報告書の作成を行う。	1 式

【別紙４－３】 サイフォン（吐口部） 機能保全計画の策定 作業項目内訳表

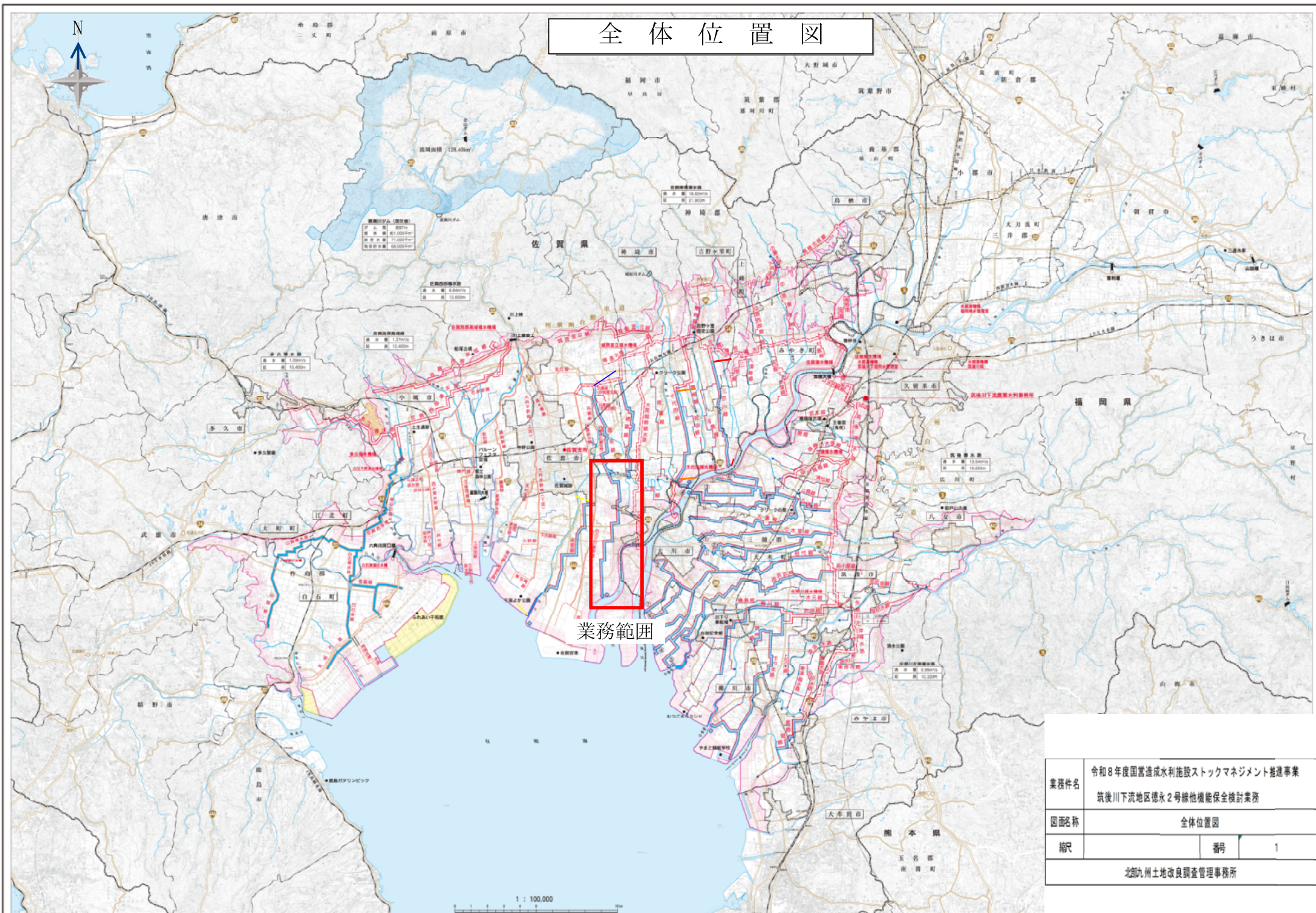
作 業 項 目	作 業 内 容	数量
1. 業務準備	調査対象施設の周辺の地形、現況、諸施設について調査し、業務実施計画書策定のために必要な現地調査を行う。	1 式
2. 事前調査		

2-1. 資料調査	施設完成時の設計図書及び施設管理記録、地域特性に係る資料等を収集・整理し、診断評価の基礎材料とする。	1 式
2-2. 問診調査	施設管理者等から日常利用、操作等の不具合・変状箇所・補修履歴等について聞き取り調査を行い、施設機能に関する課題、問題点を把握・整理する。	1 式
3. 施設機能の検討	資料調査及び問診調査を基に、安全性、水利的な機能及び環境面からの要求機能について整理し、診断の重点を設定するほか、要求機能を満足するための要求性能を設定する。	1 式
4. 施設の影響度評価	事前調査及び現地踏査結果を基に、施設の影響度を評価する。	1 式
5. 性能低下要因の推定	事前調査及び現地調査結果を基に、性能低下の推定を行う。 また、環境(周辺環境等)条件による性能低下の可能性があるか推定する。	1 式
6. 健全度評価	調査結果に基づき、調査単位毎に施設の健全度の判定を行う。	1 式
7. 性能低下予測	性能低下要因推定結果、健全度判定結果等を踏まえ、現況施設の性能判定を行うとともに、性能管理指標を選定し、現地条件に適合する性能低下予測手法により、性能低下予測を行う。	1 式
8. 管理水準の設定	性能低下予測の結果を基に、構造の安全率、施設の重要度及び経済性を踏まえ、各施設の管理水準を設定する。	1 式
9. 機能保全対策の検討	施設別に現地状況に適合する対策工法を複数選定し、選定された対検討策工法・実施時期、実施範囲を組み合わせ対策シナリオを複数作成する。	1 式
10. 機能保全コストの算定	対策シナリオ毎に機能保全コストを算定し、比較する。(コスト算定のために必要な数量計算、設計図面作成を含む。)	1 式
11. 機能保全計画の策定	機能保全コストを最小とすることを基本とした上で、施設重要度を踏まえたリスクや、環境との調和、維持管理の容易さ等、多様な側面も総合的に検討し、機能保全計画を策定する。 なお、状況監視等を継続する必要があると認められる施設については、経年変化状況把握などのための施設監視計画を作成する。	1 式
12. 農業水利ストック情報データの入力及び登録	上記の作業において作成した資料により農業水利ストック情報データベースの入力及び登録を行う。	1 式
13. 点検とりまとめ	各作業項目の成果物の点検、とりまとめ及び報告書の作成を行う。	1 式

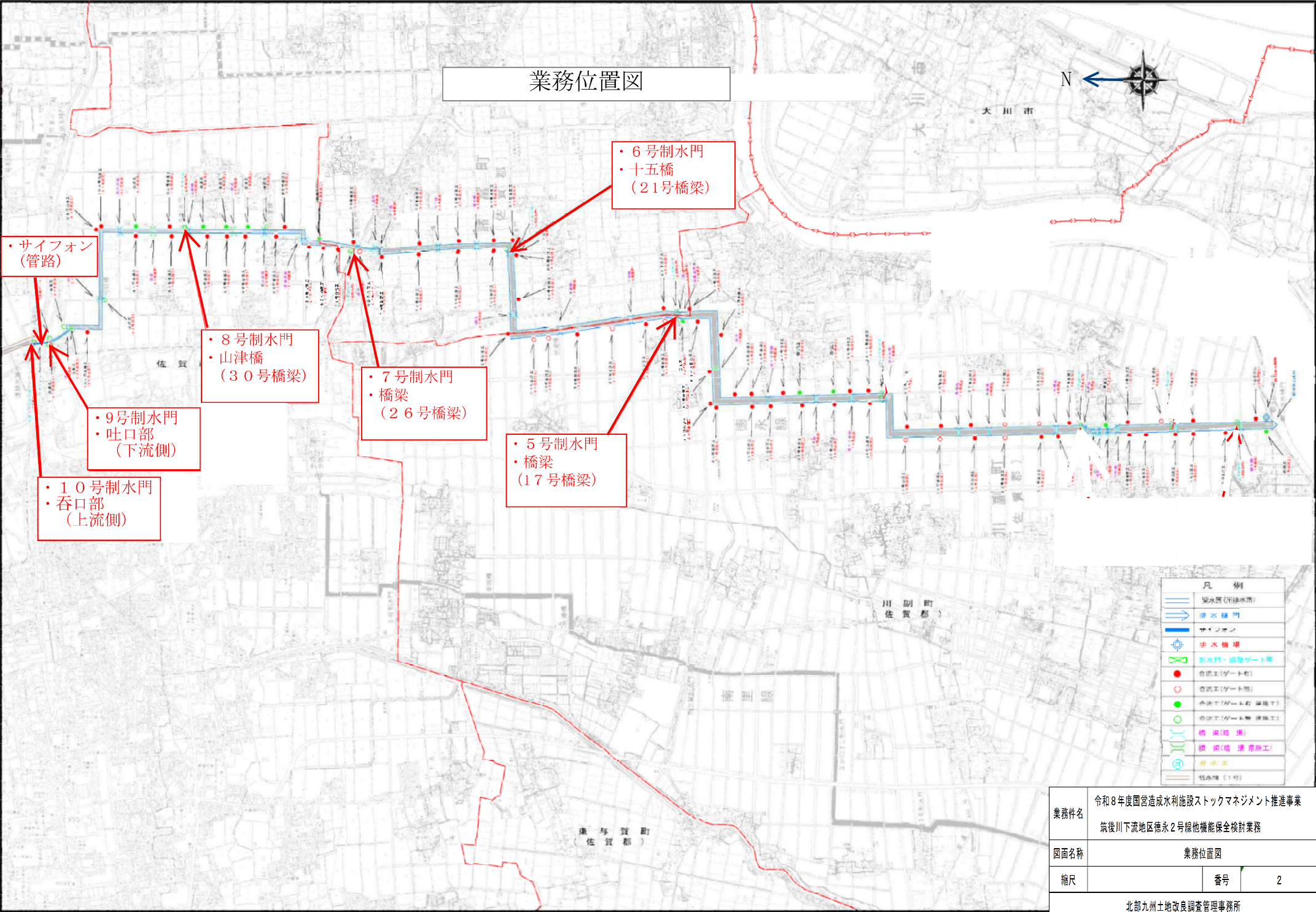
令和 8 年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
筑後川下流地区徳永 2 号線他機能保全検討業務

図面目録

図面番号	図 面 名 称	枚数	備考
1	全体位置図	1	
2	業務位置図	1	
3－1	サイフォン一式（位置図）	1	
3－2	サイフォン（管路）	1	
3－3	サイフォン（呑口部①）	1	
3－4	サイフォン（呑口部②）	1	
3－5	サイフォン（呑口部③）	1	
3－6	サイフォン（吐口部①）	1	
3－7	サイフォン（吐口部②）	1	
計		9	

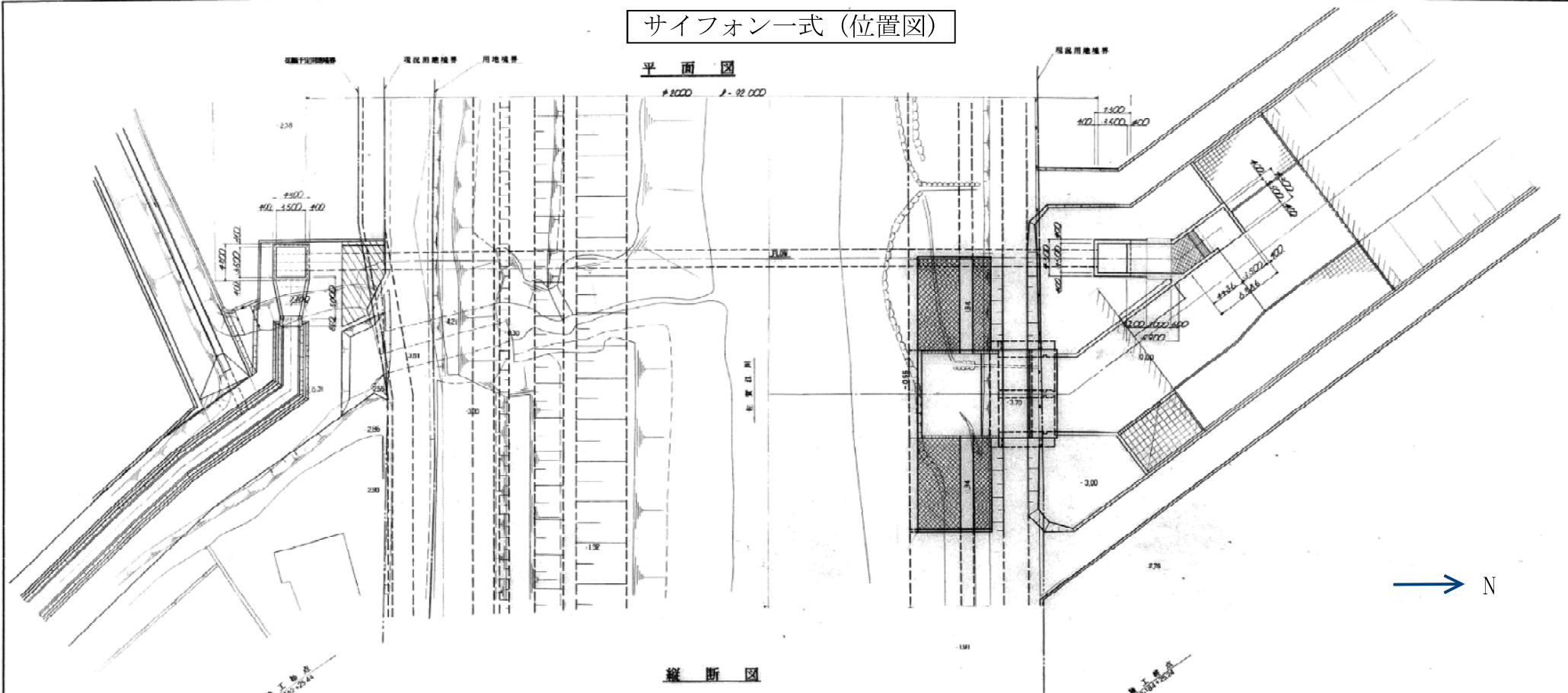


業務件名	令和8年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 筑後川下流域徳永2号線地機能保全検討業務		
図面名称	全体位置図		
縮尺		番号	1
北九州土地改良調査管理事務所			

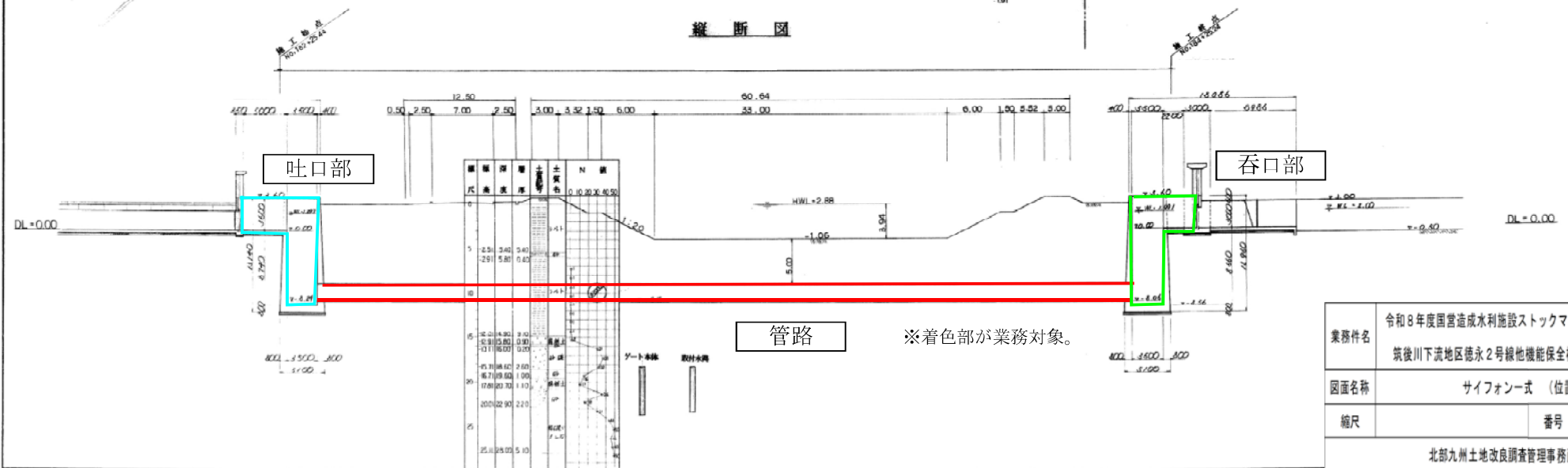


サイフォン式（位置図）

平面図

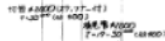


縦断面図



業務件名	令和8年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 筑後川下流地区徳永2号線他機能保全検討業務		
図面名称	サイフォン式（位置図）		
縮尺		番号	3-1
北部九州土地改良調査管理事務所			

2017-18



可也。又言

業務件名

令和8年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
筑後川下流地区徳永2号線他機能保全検討業務

图面名称	图面内容	图面比例	图面备注
1. 总图	1.1 总图	1:1000	
2. 详图	2.1 详图	1:500	
3. 剖面图	3.1 剖面图	1:500	
4. 透视图	4.1 透视图	1:500	
5. 鸟瞰图	5.1 鸟瞰图	1:500	
6. 轴测图	6.1 轴测图	1:500	
7. 其他	7.1 其他	1:500	

サイフォン（管路）

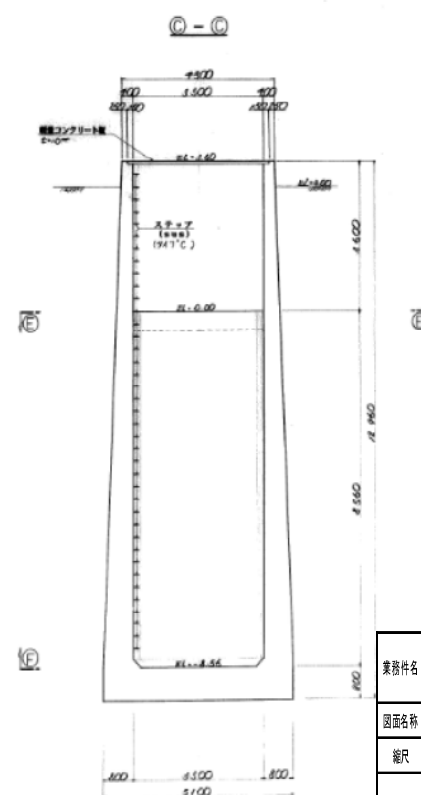
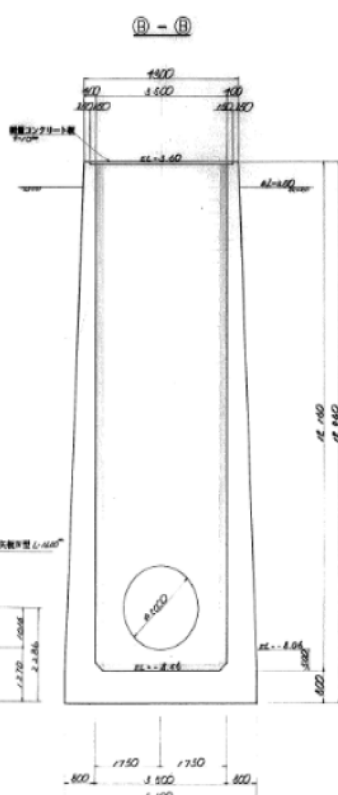
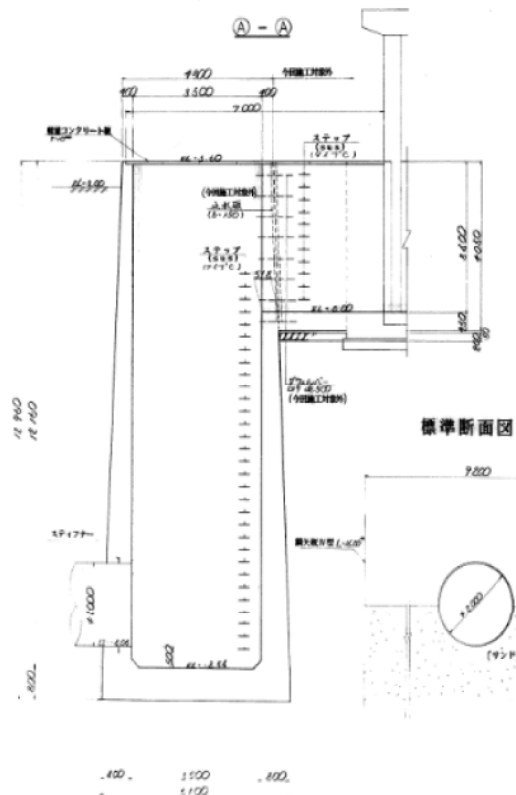
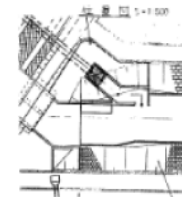
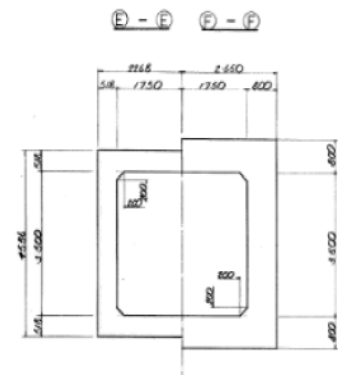
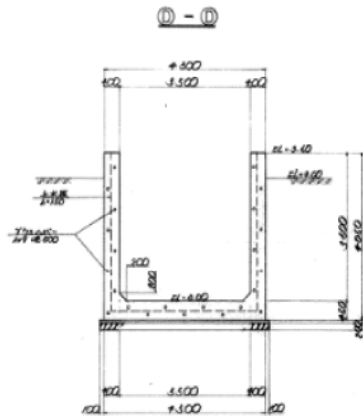
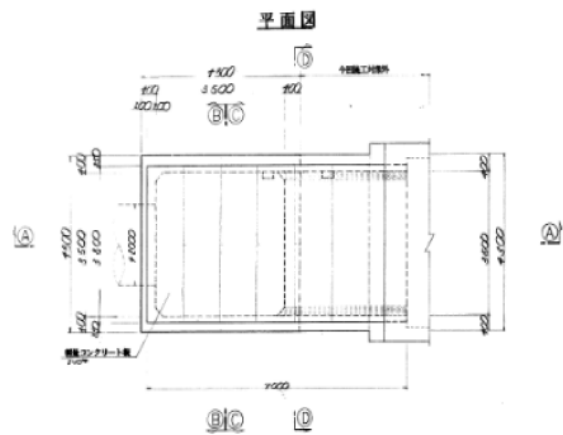
縮尺

番号

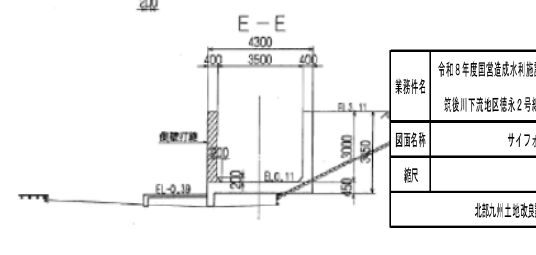
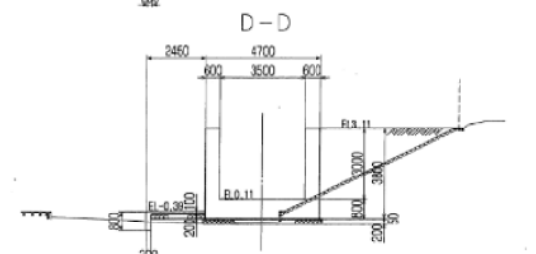
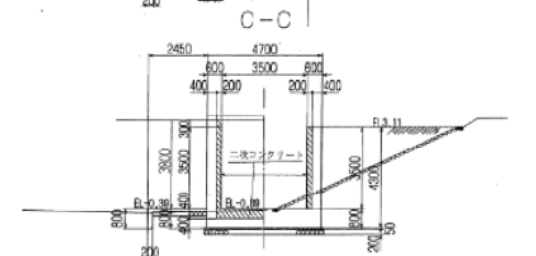
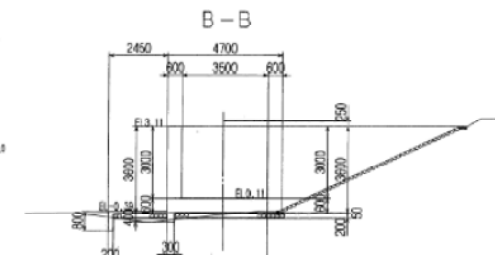
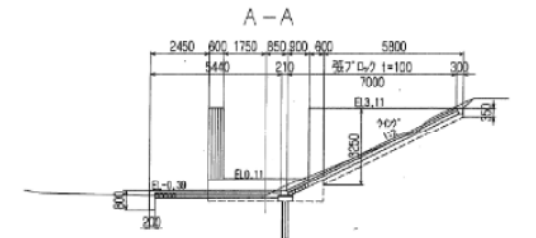
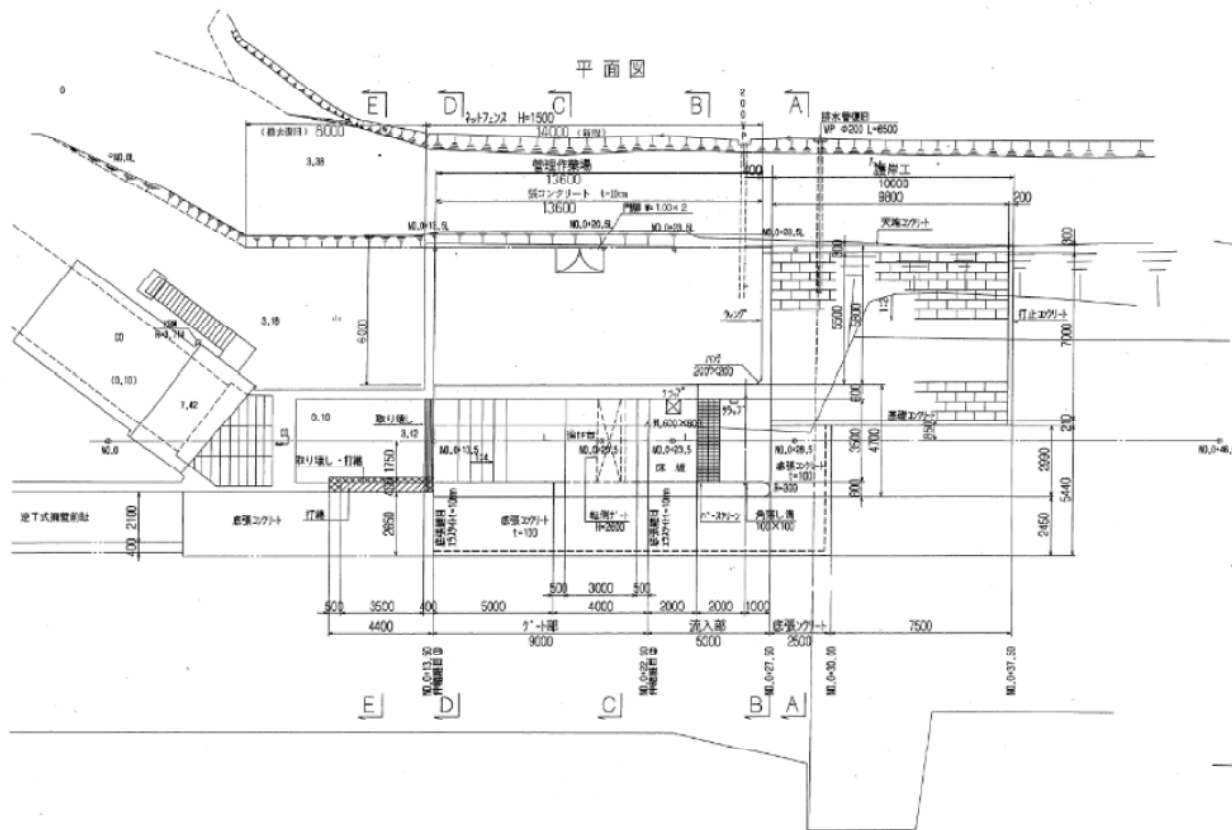
3-2

北部九州土地改良調査管理事務所

上流側取付構造物

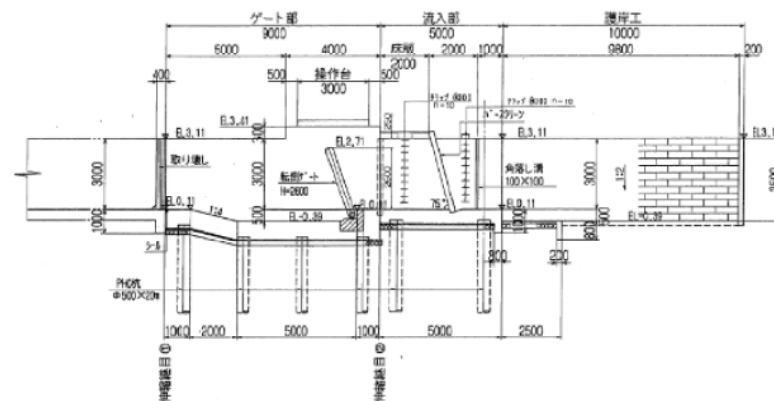


業務件名	令和8年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 筑後川下流地区湧永2号線動態保全検討業務		
図面名称	サイフォン (番口部②)		
縮尺		番号	3-4
北部九州土地改良調査管理事務所			

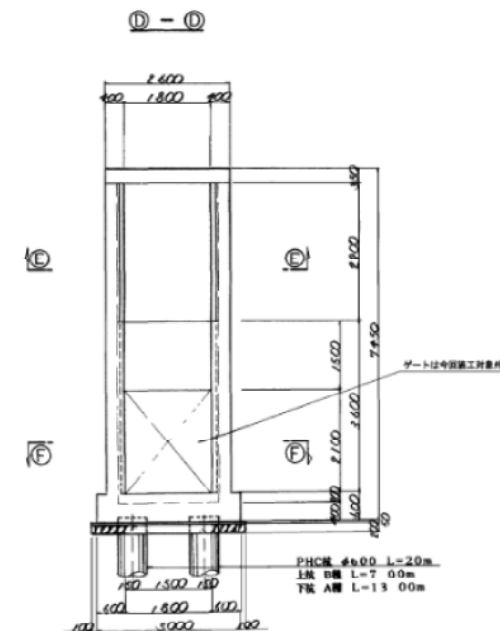
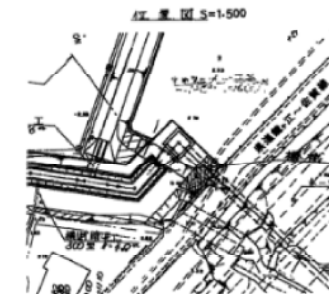
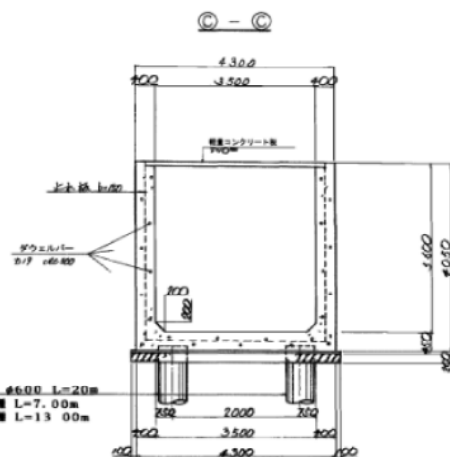
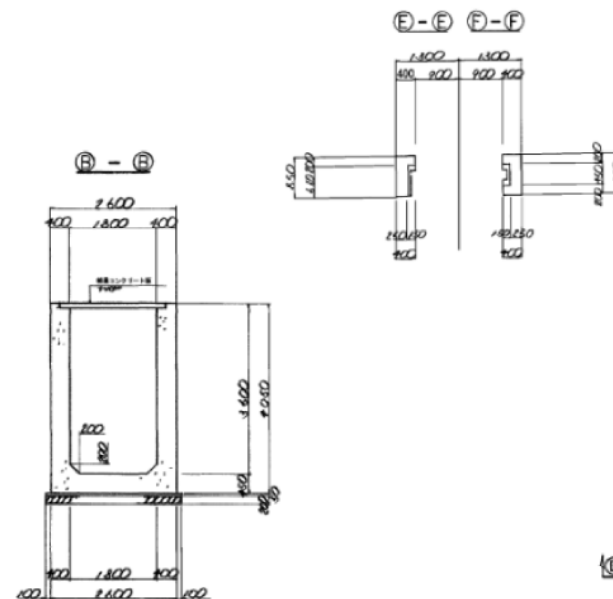
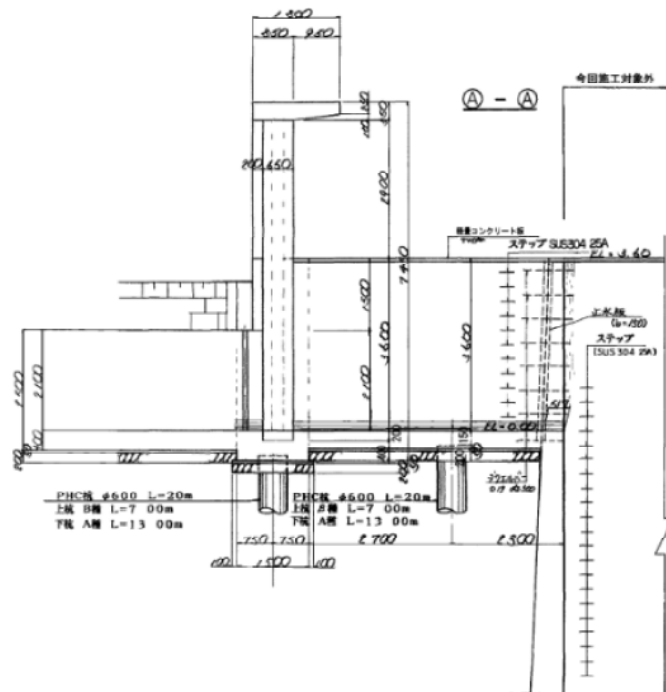
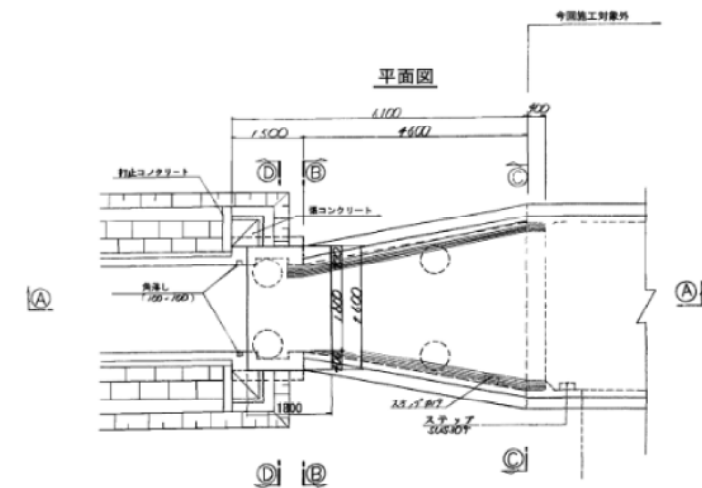


注) 幅員ゲート及びバースクリーンは
施工時別添

縦断面図



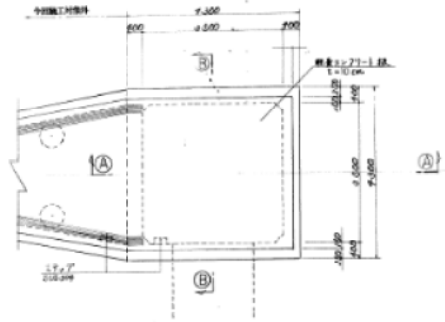
業務件名	令和8年度国土造成水利施設ストックマネジメント推進事業 筑後川下流地区徳永2号線他機能保全設計業務		
図面名称	サイフォン（河口部③）		
縮尺	番号	3-5	
北部九州土地改良局管理事務所			



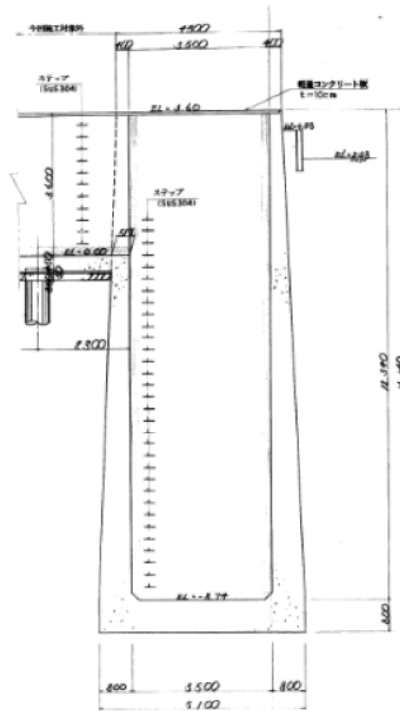
業務件名	令和8年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 筑後川下流地区徳永2号線他機能保全検討業務		
図面名称	サイフォン(吐口部①)		
縮尺		番号	3-6
北部九州土地改良調査管理事務所			

下流側取付斜構造図
S=1:50

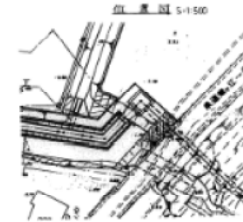
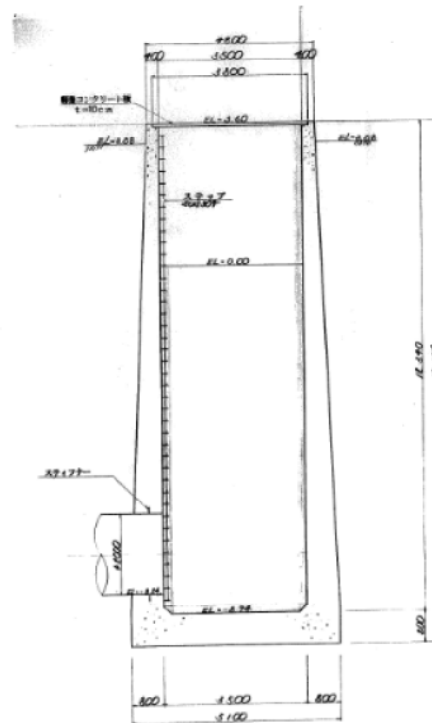
平面図



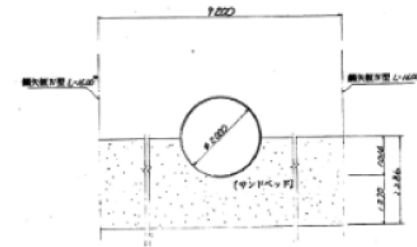
A—A



B—B



標準断面図



業務件名	令和8年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 筑後川下流地区徳永2号線他機能保全検討業務		
図面名称	サイフォン（吐口部②）		
縮尺		番号	3-7
北部九州土地改良調査管理事務所			